

番号

火藥類運搬許可ノ證
何々

屬籍

氏

名

原簿ニ割印
火藥
一何々
銃砲
何々

數量

右坑業用ノ爲メ免許商何某ヨリ買取又ハ何地ヨリ(海路陸路) 何地名何某方迄運搬又ハ何々
何々
ヲ許可ス

年号月日

何署

印署

○丙第三號 二月一日

各

課

署

明治十六年二月四日 丙第四號達自今廢止候條此旨相達候事

○丙第四號 二月十四日

警署

察署

分署

佐賀縣下ノモノ當縣下ニ於テ貸座敷娼妓營業ヲ爲サント欲スルモノハ所轄警察署ノ添翰付
與候趣同縣ヨリ照會有之候條自今添翰ナキモノハ許可セサル義ト心得ベシ

警

右相達候事

○丙第五號 二月廿六日

各

課

署

明治十七年十二月九日 丙第九拾四號達官舎貸渡規則取扱順序第二條左之通改正ス

第二條 官舎ヲ甲乙丙ノ三等ニ區分シ甲ハ月俸金四拾五圓乙ハ同三拾圓以上丙ハ同貳拾

九圓以下ノ官吏ニ貸渡スモノトス尤公務ノ都合ニ依リ特ニ貸渡スモノハ此限ニアラス

但シ甲乙丙何レニカ有餘アルキハ本條ノ別ナク當分貸渡スコトアルヘシト雖モ相當

ノ拜借人出テタルキハ三十日以内ニ返納セシムベシ

右相達候事

○丙第六號 二月廿六日

各

課

署

庶務課驛遞係章程第三項ヲ刪除シ土木課土木係章程第一項左ノ通改正ス

第一 河港道路橋梁堤防溝渠船橋管理及修築ノ事

右相達候事

監

○丙第七號 三月三日

各

課

署

明治十五年三月三日 丙第七號達分課章程中監獄本署主計係下款第三項へ左ノ但書ヲ追加ス

但事緊急ヲ要スルキハ八圓以外ト雖モ臨機處分シテ具申スルヲ得

右相達候事

常

三月六日

警察分署

○丙第八號

當縣下ニ於テ福島縣巡查奉職ノモノ休暇又ハ看護歸省或ハ旅行中疾病其他天災時變等ニ罹リ許可日限經過候爲メ保証書請求候節ハ事實取糺シ証書ヲ與フヘシ

右相達候事

地理

三月十一日

各課署

○丙第九號

測量人夫雇役規則別冊之通取設候條此旨相達候事

(別冊)

測量人夫雇役規則

第一條 測量助手ノ爲メ使役スル人夫ハ左ニ掲ケル甲號事業ニ於テ三名乙號事業ニ於テ二名ヲ限リトス

國郡村界

山川脉

甲號

地面高低

道路豫定

等ノ測量

經緯度

官林區域

水面區域

水底深淺

耕宅地海産干場

公道里程

牧場坑業地

乙號

樹木植付地民林區域

社寺地墓地

等ノ測量

第二條 實地野營ヲ要スル場合ニ限リ前條定員ノ外ニ運搬人夫ヲ付スルヲアルヘシ

但人員ハ其時々之ヲ定メ測量人夫ニ准シ取扱フヘシ

第三條 實地ノ都合ニ由リ丸木舟雇上ケ等ヲ要スル見込アル時ハ出發前確實ニ豫算シテ其費額ヲ伺出ツヘシ

第四條 測量人夫ハ使役者チシテ出發ノ日雇上ケ歸任ノ日解雇セシム

但事故ニ由リ出張先ニ於テ解雇セシムルヲアルヘシ此場合ニアツテハ直ニ代人ヲ雇上ツヘシ

第五條 測量人夫雇役中終日使役及旅行ノ時ハ一日金四拾錢半日使役ハ半日以上使役ト見做シ本額ノ四分ノ三雨天其他ノ事故ニ由テ使役セサル時ハ半日使役ト見做シ半額ヲ給スヘシ

但縣廳ヨリ三里以外ニ出テサル時ハ金三拾五錢ヲ本額トスヘシ

第六條 測量人夫ノ賃金ハ其額ヲ増減スルヲアルヘシ

但雇役中其額ヲ減スル時ハ二十日以前ニ之ヲ申渡スヘシ

第七條 事故ニ由テ五日以上測量事業ニ從事セシメサル時ハ六日目ヨリ解雇ト見做シ賃金ヲ給セサルヘシ

但雨天休業ハ此限ニアラス

但雨天休業ハ此限ニアラス

但雨天休業ハ此限ニアラス

但雨天休業ハ此限ニアラス

但雨天休業ハ此限ニアラス

但雨天休業ハ此限ニアラス

第八條 人夫出張先キニ於テ病氣ニ罹リ止ムヲ得ス解雇スル時ハ使役者ノ具狀書ト醫師ノ診斷書トニ由テ其事實ヲ糺シ出發ノ地ヨリ雇上ケノ地マテ一日十里詰ノ割ヲ以テ日手當トシテ賃金全額ヲ給スヘシ

但十里以上ノ端里數滿一里以上ハ日當一日分ヲ給シ一里未滿ハ切捨トス

第九條 測量人夫雇入ノ節ハ本人ヨリ甲號書式ノ請書保証人ヨリ乙號書式ノ保証狀ヲ差出サシムヘシ

第十條 測量人夫賃金ハ丙號書式ノ仕出書ト丁號書式ノ証書トヲ取り之ヲ渡スヘシ

甲號書式 用紙半紙 印紙箱用

御請書

一雇上ケ中半日使役ハ賃金日當ノ四分三休業ハ半額ヲ給スヘシ

一事故ニ由リ五日以上測量事業ニ從事セシメサル時ハ六日目ヨリ一時賃金ヲ給セサルヘシ

但雨天休業ハ此限ニアラス

一出張先キ自己ノ都合ニ由リ解雇ヲ請フ時ハ慥カナル代人ヲ出スヘシ

右御申渡之趣奉承知候也

年月日

族籍

姓名

札幌縣

何課

御中

乙號書式 全上

身元引受証

屬籍住所

姓名

年齢

右ノ者今般御課測量人夫トシテ御雇上ケ相成候ニ付テハ本人身上ノ義一切引受萬一本人ヨリ返納スヘキ金員等有之自然延滞候節ハ私ヨリ辨納可仕仍テ証書差出候處如件

屬籍住所

保証人 姓

名

年月日

札幌縣

何課

御中

丙號書式 用紙半紙

仕出

一金何程

但何課何係某殿何地何測量御用ニ付明治何年何月何日ヨリ何月何日マテ日數何日
間御雇上賃金

内譯

金何程 日數何日間終日就業賃金一日金何程

金何程 日數何日間半日以上就業賃金一日金何程

金何程 日數何日間半日就業賃金一日金何程

右御下渡被下度奉願候也

族籍

姓名 ○

年月日

縣令某殿

丁號書式 用紙全上 印紙帖用

証

一金何程 ○

但警内譯共全上

右正ニ奉請取候也

族籍

年月日

縣令某殿

姓名

○丙第拾號

三月 廿四日

警察署

岩手縣在籍ノ者當縣下ニ於テ貸座敷并藝娼妓營業出願ノ者ハ本籍官衙ノ添翰付與候趣全縣
ヨリ照會有之候條自今添翰ナキモノハ許可セサル義ト心得ヘシ

右相達候事

○丙第拾壹號

三月 廿七日

警察署

軍人軍屬ノ犯罪遞傳護送ノ義ハ脱走軍人軍屬ノ外ハ不取扱答ニ候處自今陸軍々法會議又ハ
營所等ヨリ依頼有之分ニ限リ囚人護送手續ニ準シ遞傳護送方取計フヘシ

但護送者旅費日當并囚人ニ屬スル一切ノ費用ハ別途下渡可相成答ニ付其都度仕譯書ヲ添
ヘ請求スヘシ

右相達候事

○丙第拾貳號

三月 廿七日

各課署

明治十七年三月 丙第三拾號達庶務課往復係ヲ文書課ト改稱シ全係及本務係章程中左ノ通改正
追加ス

右相達候事

本務係

(追加)

第十一 布令施行ニ關スルヲ
文書係

第一 縣報編輯ニ關スルヲ

(改正)

監庶

○丙第拾三號 四月 六日

警察本署
警察分署

明治十六年^{十二}月^{十二}日 丙第拾三號 內務省乙第拾八號達ニヨリ監獄經理諸表編製候ニ付テハ罰金換刑輕禁錮十日以下ノ者及拘留ノ刑ニ處シタル者留置場ニ於テ其執行シタル日ハ自今別紙雛形ニ倣ヒ已決囚經理月報及半年報ヲ製シ月報ハ翌月五日半年報前半月期ハ七月十日限リ其地發遣警察本署ヲ經由シ監獄本署へ可差出此旨相達候事
但シ明治十五年^二月^二日舊開拓使達丙第八號達ハ廢止ス

已決囚經理表記載釋列

- 一本表中數字ヲ記スルハ直行ヲ以テ式トス其記載方ハ左ノ例ニ依ルヘシ
- 一延人員ヲ記スルハ一人ニ止ム其下位ニ至テハ四捨五入ノ法ヲ用フヘシ
- 一本表界區ノ中記載スヘキ事項ナキハ黒線ヲ挿填シテ脱漏ニ非ラサルヲ明スヘシ
- 一月報ハ毎月盡日現員ヲ記載スルモノトス

第十表新クニ刑ヲ受ケシ已決囚ノ出生

一出生別ノ界區内ニ在ル父母存在ノ項ニ屬スル緯線ニハ現存ノ父母アル者ノ數ヲ記シ父

ノ・存在ノ項ニ屬スル緯線ニハ生來實父母(父母共ニ存生シ父ハ父存シ母ニ養育セラレタル者ノ數ヲ記シ養父母及ヒ繼母(共ニ實父母ノ下ニ云)手ニテノ項ニ屬スル各緯線ニハ實父母ニ養育セラレスシテ養親繼親(父ハ實父ニシテ母繼母ナルト父繼ニ養育セラレタル者ノ數ヲ記スルノ類最モ數人ノ手ニ生育ヲ受ケシ者ハ其生育ヲ受ケシ年數ノ最モ長キ者ヲ以テ記載シ若シ其年數ニ長短ナキハ實際ノ狀況ニヨリ最モ教育ニ必要ナルト生育ヲ受ケタルモノヲ以テ記載スルモノトス

第十二表新クニ刑ヲ受ケシ已決囚ノ身上

一都市村落ノ別ハ(此ノ區別ハ其名ニ不拘毎戶連擔一市街ヲ爲スモノハ村名)已決囚入監ノ際マテ都市ニ現住シタル者ハ都市ノ界區ニ記シ村落ニ現住シタル者ハ村落ノ界區ニ記スヘシ

但シ貧富ノ別ハ一家ノ生活ヲナシ得ヘキ資産アル者ト否ヲサル者トヲ區別シ其實況ニヨリ署長ノ見ル處ヲ以テ適宜相定ムヘキモノトス

第十四表新クニ刑ヲ受テ再犯以上コナリシ已決囚ノ前刑在監ノ期

一一期間ニ在テ新クニ刑ノ宣告ヲ受ケテ再犯(新法實施ノ前後ニ不拘)以上トナリシ已決囚アル者ハ現刑前ノ受刑(警ヘハ再犯ノ者ナレ)ニ由テ在監セシ期間數ヲ記スヘシ最モ其初

第十號		新タニ刑ヲ受シ已決囚ノ出生々育及教育ノ別		明治何年自一月(七月)至六月(十二月)	
總計	別	刑名		出生別及ヒ父母ノ有無	
		女	男	有	無
	存在			公生	私生
	存在			父母ノ母ノ父母合	實父養父繼ハ
	存在			存ミ存共死	母ノ母ノ又ハ
	計			棄兒計	繼母ノ手ノ手所等
	テ			手ニ手ニ	ノ手ノ手所等
	テ			ニテ	ノ手ノ手所等
	テ			ニテ	ノ手ノ手所等
	計			ノシモ	業セミ書不學
	計			ル者	者
	計			計	計

第十一號		新タニ刑ヲ受シ已決囚ノ年齡		明治何年自一月(七月)至六月(十二月)	
刑名	別	總計		拘留	
		女	男	女	男
輕禁錮	以十六以下				
	以十六以上				
拘留	以二十以下				
	以二十以上				
總計	以二十五以下				
	以二十五以上				
刑名	以三十以下				
	以三十以上				
輕禁錮	以三十五以下				
	以三十五以上				
拘留	以四十五以下				
	以四十五以上				
總計	以五十五以下				
	以五十五以上				
刑名	以六十五以下				
	以六十五以上				
輕禁錮	以七十五以下				
	以七十五以上				
拘留	以上				
	合計				

第十二號 新タニ刑ヲ受シ已決囚ノ身上

明治何年自一月(七月)至六月(十二月)

刑名	別	總計		拘留	
		女	男	女	男
輕禁錮	都市村落ノ別				
	身ノ別				
刑名	有配偶				
	無配偶				
輕禁錮	小兒ナル者				
	小兒ナル者				
拘留	合計				
	合計				

(別冊)

測量御用出張先就業手當給與規則

- 第一條 土地其他測量ノ爲メ各地出張就業ノ間ハ従前ノ旅費支給ヲ廢シ一切ノ費用トシテ事業ノ等級ニ應シ下表ノ日手當金ヲ給スヘシ
- 第二條 測量事業ノ區別シテ一等二等トス
 - 一等 國郡村界 山川脉 經緯度 地面高低 水底深淺 官林區域
 - 二等 耕宅地海産干場 社寺地墓地 市街區畫 牧場 樹木植付地 民林區域 坑業地 道路豫定 公道里程 水面區域 等ノ測量
- 但事業ノ場合ニ由リ二等ノ業モ一等ニ準シ一等ノ業モ二等ニ準スルコトアルヘシ
- 第三條 測量事業取扱方監査ノ爲メ出張ノ者ヘモ此規則ニ據リ手當金ヲ給スルコトアルヘシ
- 第四條 測量ハ一事業毎トシテ假令ハ國郡界山川脉等ノ調査ニアツテハ一國郡界一山川脉一事業ノ區別ス
- 但事業ノ區別判明ナラサルモノハ臨時之ヲ定ムヘシ
- 第五條 測量御用ニ付就業地ヘ往復スル時及一事業ヲ卒リ他ノ事業ニ移ル時ハ定則ニ由リ旅費日當ヲ支給スヘシ

但一事業ヲ卒リ他ノ事業ニ移ラントスル時經過スル里程六里未滿ノ分ハ旅費ヲ給セ
 下表ノ外業手當金スヘシ

第六條 測量就業ノ地縣廳ヨリ(地方在勤ノ者ハ其地ヨリ)三里以外ニ亘ラサル時ハ手當金ヲ給セサルヘシ

第七條 測量就業ノ日ヲ外業トシ一日中午前若クハ午後ノミ就業スルモノヲ半業トシ其他ハ總テ内業トス

日手當金額表

事業等級	官員等級	外業手當	半業手當	内業手當
一等	判	金壹圓	金七拾錢	金四拾錢
	任	金七拾五錢	金五拾五錢	金三拾錢
二等	判	金七拾錢	金五拾錢	金三拾錢
	任	金六拾錢	金四拾五錢	金貳拾五錢

○丙第拾五號 四月十一日 警察分署 五百六十五

新潟縣下ノモノ當縣下ニ於テ貸座敷並藝妓營業ヲサントスル者ハ本管警察署ノ添翰付與候趣同縣ヨリ照會有之候條自今添翰ナキモノハ許可セサル義ト心得ヘシ

右相達候事

四月十八日

各課署

○丙第拾六號 本縣ニ於テ本年五月一日ヨリ縣報ヲ發行候ニ付左ノ條件ヲ定ム

第一條 縣報ハ別紙ニ記シタル事務ヲ掲載スヘキニ付各課署一係一名但缺員ノ節ハ課長之ヲ指名スヘシ郡區役所二役所ニ主任ヲ定メ縣報ニ掲載スヘキ書類ヲ取纏メ文書係ニ宛テ送付スヘシ

第二條 各般ノ事項其緩急ヲ量リ順次ニ掲載シ大部ノモノハ之ヲ分載スル等都テ文書係ニ於テ之ヲ次第スヘシ

第三條 太政官布告布達官省告示ハ文書係ニ於テ直チニ之レヲ編入シ本縣布達告示達書ノハ此限ニアラス廣告ハ判決濟文書係ニ於テ其令達番號及發行月日ヲ付シ原稿紙ニ淨寫校合シ他ノ事項ハ其主ナル所ニ於テ原稿紙ニ記載主任押印シテ同係ニ回付ス同係ニ於テハ之ヲ點檢シ意見アルモノハ取捨増減ノ上判決ヲ得テ編入スヘシ

但事柄ニ據リ判決ヲ經ス直ニ編入スルコトアルヘシ

第四條 本縣布達告示達書等改正増減ニ係ルモノハ參照ノ爲メ從前ノ成文ヲ登載スヘキ

○付自今改正案提出ノ節ハ必ス右參照文ヲ添付スヘシ

第五條 乙號達ニシテ丙號達ヲ其別紙ト爲ス類ハ右丙號達ト同日ニ登載スル場合ニ限リ(別紙前ニ在リ)ト記シテ簡約ニ從フヘシ

第六條 明治十五年三月丙第貳號達本縣例規第二十八條ニ據リ布達達書ヘ主務係ノ頭字ヲ欄外左傍ヘ記入スルモノハ自今布達達番號ノ下ニ登記シ上下ニ括弧ヲ施スヘシ

第七條 明治十六年六月乙第七拾壹號達布告布達告示達書頒布手續第一條ノ布告布達告示ハ自今縣報ニ登載頒布スヘシ

但本文ノ趣郡區役所ヨリ人民ヘ傳達スヘシ

第八條 明治十七年十一月乙第貳百八拾號達布告布達及本縣布達到達日限ハ縣報表面ノ欄外右肩ヘ記入スヘシト雖且揭示ノ節ハ(布告)(布達)ト題セシ每欄線内ニ記入スヘシ

但明治十六年六月乙第七拾壹號達布告布達告示達書頒布手續第七條揭示日限ヲ朱記スル場合ニ於テモ本文ニ同シ

第九條 揭示所ヘハ縣報ヲ一所二部宛配付セシムルニ付從前ノ通布告布達モ告示廣告ノ部分ニ限リ便宜掲出スヘシ

第十條 每一月縣報中ノ布告布達告示達書廣告伺指令目錄ヲ作り翌月ノ初ニ各課署郡區役所戸長役場ヘ配付スヘシ

第十一條 縣報配付部數左ノ如シ

- 各課署 一係一部
- 警察署及分署 各一部
- 林區事務所 各一部
- 勸業課派出所 各一部
- 船改所 各一部
- 郡區役所 各一部
- 戶長役場 各一部
- 縣立學校病院 各一部
- 揭示所 各一部
- 各戶回達 一組一部
- 但本項ハ布告布達告示廣告ヲ登載セシモノニ限ル
- 學務委員 一名一部
- 衛生委員 一名一部
- 以上二項ハ該委員ヲ連署セシモノニ限ル
- 縣報事項
- 一 詔勅
- 二 布告

- 三 布達
- 四 告示
- 五 本縣布達
- 六 本縣告示
- 七 本縣達 公示ヲ妨ケサルモノ
- 八 任官
- 九 伺指令 公示ヲ妨ケサルモノ
- 十 彙報官吏轉職出入及此項目外ニ係ル諸般ノ報告即チ郡區役所戶長役場ノ聯合ヨリ戶籍賑恤兵事電信驛遞郵便土木營繕其他諸般ノ雜件ヲ云フ
- 十一 褒賞
- 十二 參照
- 十三 正誤
- 十四 學事
- 十五 衛生事項
- 十六 農工商事項
- 十七 警察事項
- 十八 氣象
- 十九 汽船出入

監獄

○丙第貳拾三號

五月四日

警 察 本 署
警 察 本 署
警 察 本 署
監 獄 支 署
監 獄 支 署
監 獄 支 署

未決已決ノ囚人監獄署へ送付ノ際其携有スル財貨物件引渡方是迄區々ニ涉リ不都合ニ候條以來ハ悉ク其名數ヲ目錄ニ記載シ囚人ト共ニ送付可致此旨相達候事

出

○丙第貳拾四號

五月十一日

現金并金券類取扱順序左之通相定候條此旨相達候事

但明治十六年六月丙第三拾號全年月十二日丙第八拾八號明治十七年二月丙第貳拾貳號達ハ自今廢止ス

止ス

現金并金券類取扱順序

第一條 當廳へ收入スル金銭ハ左ノ各項ニ依リ取扱フ可シ

第一項 直納ノ金銭ハ納人ナシテ爲替方ニ就キ假預金券ニ換へ上納証書ヲ添へ各主務課署へ出サシメ領收証書ト交換シ其金券ハ即日限リ上納証書書ヲ添ルコ不_レ及_ニ仕譯書ヲ添へテ會計課へ引渡ス可シ

但郡區役所等ヨリ各主務課署宛直送ニ係ル金券類モ又本項ニ準シ取扱フ可シ

第二項 他官廳ヨリ送付ノ現金并金券類ハ庶務課文書係_モ通運會社便_ニ係ルヨリ會計課

へ引渡ス可シ

第三項 他官廳又ハ警察署及分署林區事務所勸業課派出所船政所郡役所戸長役場其他派出官吏等ヨリ送付ノ現金ハ會計課ニ於テ主任二名并通運會社々員立會_{官吏}該官吏送_{立會}送狀ニ照合シ封面押印等異狀ノ有無檢査ノ上之ヲ受取リ爲替方ナシテ眞贋鑑定セシメ直ニ假預ヲ爲ス可シ

第一條 會計課ニ於テハ金券類ニ對スル金員ハ翌日必ス之ヲ納入シ其領收証書ノ内直納交ハ他官廳ヨリノ送金其他收稅課主管ニ係ル分ハ之ヲ該課署へ交付シ其餘ハ納元へ發遣ス可シ

但領收証書ヲ納元へ發遣セシ分ニ限リ第一圖案内切符ヲ各課署へ送付ス可シ

第三條 各主務課署ニ於テ前條領收証書又ハ納濟案内ヲ得タル并假納ニ係ル分ハ其日ヨ

リ三日以内ニ本納ノ手續ヲ爲シ其他拂渡ヲ要スルモノハ全權會計課へ報告ス可シ

第四條 金券類ハ會計課主任二名立會ノ上金庫へ藏置シ之カ受拂ヲ爲ス可シ

第五條 各課署ニ於テ金券類ノ受拂ハ適宜帳簿ヲ設置取出ノ金員及事由等無遺漏明瞭ニ記載ス可シ

第六條 他へ拂渡ス金銭ハ左ノ各項ニ依リ取扱フ可シ

第一項 他官廳へ送付スヘキ金銭ニシテ現金遞送ヲ要スルモノハ爲替方ニ命シ封金ト

ナサシメ會計課主任二名及通運會社々員會立堅牢ナル紙ヲ以テ之ニ上封ナシ金員

及届先等ヲ記載シ主任五箇所以上封印ノ上送り狀ヲ添ヘテ直ニ通運會社ヘ下渡シ其
 他金券類モ之ニ準シ取扱文書發遣ノ通知アルキ之ヲ文書係ヘ引渡ス可シ
 第二項 警察署及分署林区事務所勸業課派出所船改所郡役所戸長役場其他派出官吏等
 へ送付ス可キ現金モ前項ニ準據シ取扱フ可シ
 但金券類ハ會計課ヨリ各主務課署ヘ交付ス可シ
 第七條 前條封金ヲ内國通運會社ヘ下渡濟ノ上ハ第二圖案内切符ヲ主務ノ各課署ヘ送付
 ス可シ
 第八條 警察署及分署林区事務所勸業課派出所船改所其他派出官吏等ニ於テ現金ヲ領取
 スルキハ到達ノ日ヨリ三日以内ニ領収證書ヲ會計課ヘ送付ス可シ
 第九條 警察署及分署林区事務所勸業課派出所船改所其他派出官吏ニ於テ現金ヲ内國通
 運會社ト授受セントスルキハ前各條ニ依リ取扱フ可シ

第一圖

乙 第何號	納元(郡區役所又ハ何々)
一金何程〇(取扱員小印)	
(但年度科目事由ヲ摘記シ收入番號ヲ記スヘシ)	

右金員本日(納入)候條此段及御通知候也	
年月日	會計主務 官 姓 名 印
何課署	御 申
雷紋	主任
年月日權收	割印
乙號切符受取員証印〇	
甲 第 號	納元(郡區役所又ハ何々)
一金何程〇(取扱員小印)	

但(年度科目事由ヲ摘記シ收入番號ヲ付記スヘシ)

第二圖

乙 第何號

一金何程○(取扱員小印)

但(云々)

一金

但

一金

但

右金員本日(何警察署)又ハ(何々)へ送付候條此段及御通知候也

會計主務
官姓

名印

年月日
何課署

御中

主任

雷紋

割印

年月日仕拂

乙號切符受取員証印○

甲 第何號

一金何程○(取扱員小印)

但(年度科目事由ヲ摘記スヘシ)

一金

但

○丙第貳拾五號

五月十一日

各課

監獄本署

今般丙第貳拾四號ヲ以テ現金并金券類取扱順序相達候ニ付テハ收入未済ニ係ル預リ切符ノ金員ハ本月十五日ヨリ悉皆納入候儀ト心得可シ此旨相達候事

○丙第貳拾六號

五月十八日

各課

署

明治十六年十一月十一日 丙第七拾五號全年七月 丙第貳拾七號全年七月 丙第六拾貳號達金穀收支取扱順序中左ノ通申正候條此旨相達候事

但十六年十二月十二日 丙第八拾九號達ハ廢止ス

第十條 領收證書ハ課署名若クハ總代名等ヲ以テスルヲ得ス

但代人ヲ設クルキハ連署ノ書面へ印鑑相添會計課へ差出其証書ハ第四圖書式ニ依リ其事由ヲ具記スヘシ

第十二條 第十三條トス以下逐條繰下更ニ左ノ一條ヲ設

第十二條証書中金員ノ塗抹ヲ禁ス若シ誤脱アルルハ朱字ヲ以テ更正シ之レニ納金者又ハ領收人ノ證印ヲ押捺セシムヘシ

(第四圖書式)料紙白半紙

出 檢

一金何程 證

但云々

右正請取候也

年月日

何課(署)何係

官 姓 名

右何々御用ニ付何所出張(何々ニ付)省(中ニ付代理)官 姓 名 ○

縣 令 宛

(第八圖書式給證書)料紙白半紙以下全シ

證

本人ノ實印以下全シ

一金何程 ○

(証書ハ壹人一紙ニ限ル)

但明治何年何月分月俸

新任轉免其他ノ事故アルルハ左ノ例ニ依ルヘシ

(但明治何年何月何日何官拜命(依願何官被免)候ニ付何月分月俸全(半)額)

(但明治何年何月何日何官ヨリ何官へ昇級(御用係又ハ雇月俸金何圓ヨリ何圓ニ)増額)ニ付何月分月俸

(但明治何年何月何日何官ヨリ何官ニ昇級(御用係又ハ雇月俸金何圓ヨリ何圓ニ増額)ノ處前官月俸(前給)金何圓ハ既ニ請取濟ニ付向月分増額ノ下半額
 (但明治何年何月何日何給金何拾錢何圓御用係(雇)拜命ニ付同月分日給ノ全額又ハ月俸ノ全額(上半月分ハ日給ノ半額下半月分ハ月俸ノ半額ニテ合如斯)
 (但明治何年何月何日何々ノ爲メ歸郷願濟何月何日出發ニ付何月分月俸上半月ハ全額ノ半額下半月ハ四分ノ一合如斯
 (但明治何年何月何日何々ノ爲メ願濟歸郷(中ニ付全何年何月分ハ月俸半額)ノ處(全何年何月何日歸着ニ付何月分月俸(全額)上半月ハ四分ノ一下半月ハ全額ノ半額合如斯
 (但明治何年何月何日ヨリ罹病引籠ノ處全何月何日迄ニテ滿四ヶ月ニ付何月分月俸三分ノ一
 (但明治何年何月何日何々御用ニ付何地出張被命候ニ付何年何月分月俸繰上御渡相成候分

「支給者ノ印

明治何年何月何日辭職願濟又ハ何處何官ニ轉任○月俸支給後免職又ハ轉任等ニテ翌月分月俸支給セサルキハ如斯朱書ス可シ其餘之ニ準
 右正ニ請取候也

何課(署)何係

「實印以下全シ

(属官及等外ノ外ハ相當官ヲ記入スヘシ相當官ナキ分ハ月俸額ヲ肩書スヘシ)

年月日 官 姓 名 ○
 御用係 准判任(雇)月俸金何圓 何 某 ○

縣令宛

(第拾壹圖滿年賜金、退官一時賜金證書)

證

一金何程○

但明治何年何月何日何々(死去又ハ廢官廢職等)ノ事由ヲ記スヘシニ付何年何月何日何官拜命以來滿何年以上勤續ニ付月俸何ヶ月分紙履歷書之通
 右正ニ請取候也

年月日

元官 姓 名 ○

元何々月俸金何程

氏 名 ○

縣令宛

(第拾三圖備給證書)

證

一金何程○

(証書ハ壹人壹紙ニ限ル)

但明治何年何月分給料

(但日給金何程何年何月何日ヨリ何日迄勤日數何日分合如斯)

雇入放免欠勤等ノ事故アルキハ左ノ例ニ依ルヘシ

(但明治何年何月何日何所何々給料(日給)金何程拜命(被免)候ニ付何日ヨリ何日マテ勤日數何日分合如斯)

(但明治何年何月何日何所何々給料金何程ヨリ何程ニ増給ニ付同月何日ヨリ何日マテ勤日數何日分ハ前給金何程ノ割全何日ヨリ何日迄勤日數何日分ハ後給金何圓ノ割ヲ以テ合如斯)

(但明治何年何月何日ヨリ同何日迄ノ内何日ハ病氣欠勤ニ付除之勤日數何日分(給料金何圓ノ割ヲ以テ日給金何程)合如斯)

例勤日數ニ月給額ヲ乘シ全月現日數ヲ以テ除クヘシ假令ハ七月十五日月給金七圓ヨリ同金九圓増給ノ分ハ前給日數十四日〜七圓ヲ乘シ又後給日數十七日〜九圓ヲ乘シ而シテ甲乙得タル處ノ數ヲ加算シ全月現日數ヲ以テ除キ四捨五入厘位ニ止ムルヲ算則トス

右正ニ請取候也

何所給仕(何々)

給料(日給)金何程

年月日

何

某〇

縣令宛

(第拾四圖備給證書)

一金何程

但何々ニ付御雇上人足明治何年何月何日ヨリ何日迄日數何日一日何人延何人壹人

ニ付金何程合如斯

(但何々ニ付御雇上人足何人(馬何頭)何所ヨリ何所迄里程何里一里ニ付金何程内)何里ハ山道何割増雪中ニ付何割増共人足壹人(馬壹頭)ニ付金何程合如斯

賃錢ニ差等アルモノハ左ノ例ニ依リ内書ニ記載セシムヘシ

内

金何程

人足何人

金何程

但壹人ニ付

金何程

人足何人

金何程

但壹人ニ付

但何々ニ付明治何年何月何日ヨリ全何日迄御雇上人足賃又ハ何々ニ付御雇ノ分人馬雇上賃錢同時ニ支拂セシキハ左ノ例ニ依リ内書ニ記載セシムヘシ

内 譯

金何程

馬何頭

但何々ニ付御雇上何所ヨリ何所マテ里程何里壹里ニ付金何程内何里山道何割増雪中何割増共馬壹頭ニ付金何程合如斯

金何程

人足何人

但何々ニ付御雇上何所ヨリ何所マテ里程何里壹里ニ付金何程内何里山道何割増
 雪中何割増共人足費人ニ付金何程合如斯
 (里岸へ平常賃錢ヲ乘シ割増率ハ假令ハ五割ナレハ(一、五)三割ナレハ(一、三)類餘
 之ニ準ス)ヲ乘シ四捨五入厘位ニ止ムルヲ算則トス運搬費モ之ニ準ス
 右正請取候也

(請負ニ係ルモノハ其旨肩書セムヘシ)

何所何番地

年月日

何 某 ○

縣令宛

(第拾六圖勉勵賜金)

證

一金何程○

但何々(辭令面ノ事由)ニ付被下候分

(賞與死傷手当療治料追賞祭資等ハ此例ニ依ルヘシ)

右正ニ請取候也

(属官等外出仕ノ外ハ相當官配入スヘシ相當官ナキ分ハ月俸額ヲ肩書スヘシ)

年月日

官 姓 名 ○

又ハ何所番地

何 某 ○

縣令宛

(第二十一圖電信料計算書)料紙半紙野

官 姓 名 ○

明治何年何月中何費電信料計算表

一金何程○

電 信 料

通信場所	音 信		料 計	名 宛 及 届 賃 計	通 計
	音信數	一音信料			
何所ヨリ	幾音信	何程	何度	六錢五厘	何程
何所マテ	幾音信	何程	何度	六錢五厘	何程
何所ヨリ	幾音信	何程	何度	六錢五厘	何程
何所マテ	幾音信	何程	何度	六錢五厘	何程

船艦へ配達ヲ要スルモノ其他分局ナキ武里以外ノ地へ達スヘキモノ、如キハ別ニ區
 畫ヲ設ケ其賃錢ヲ掲載スヘシ但至急官報并書留電報ハ此例ニ倣ヒ別廉ニ掲載スルヲ
 要ス
 (第二十二圖)

電信料證書ハ半紙一圖ノ如ク糊貼シ仕拂人ニ之ヲ押印スヘシ
 仕拂人ノ印以下同シ

縣令宛

何 某 ○

(第二十四圖賄費證書)

證

一金何程○

但囚人何某外幾名何年何月何日宿泊料(晝食料)延何程一泊又ハ一食金何程宛令如

斯 拘留中賄料ハ左ノ例ニ依ルヘシ其他之ニ準ス

一金何程○

何拾幾食

但壹食金何程

内

囚人

何年何月何日晝又ハ夕ヨリ
全 何日晝或ハ夕マテ

何食

何 ノ 某

何年何月何日晝又ハ夕ヨリ
全 何日晝或ハ夕マテ

何食

何 ノ 某

右正請取候也

何所番地

年月日

縣令宛

何 某 ○

(第二十五圖運搬費證書)

證

(正當領収者ニ於テ品目記入スル能ハサルキハ其仕拂人ニ於テ附箋ヲ以テ其品目等ヲ詳記シ之ニ調印スヘシ)

何々御用物 何所何某出
何官衙納

一金何程○

何々(品目記入セ) 蕪包 何貫目 何箇

但馬何頭(人夫何人)ニテ何處ヨリ何處マテ運搬此里程何里壹里ニ付金何程内何里
山道何割増雪中ニ付何割増共馬壹頭(人夫壹人)ニ付金何程宛令如斯
人馬賃錢同時ニ支拂セシキハ左ノ例ニ依リ内書ニ記載セシムヘシ

内 譯

金何程

馬何頭

但何所ヨリ何所マテ里程何里壹里ニ付金何程内何里山道何割増雪中何割増共馬
壹頭ニ付金何程令如斯

金何程

人足何人

但何所ヨリ何所マテ里程何里壹里ニ付金何程内何里山道何割増雪中何割増共人

足尊人ニ付金何程合如斯

内國通運便ニテ運搬ノモノハ左ノ例ニ依ルヘシ

何々御用物 何所何誰出
何官衙納

一金何程○

何々(品目記入セ) 何包何個
シムヘシ) 此目形何貫何百目

内譯

金何程

何所ヨリ 里程何百何十里以内
何所マテ 里程何十里以内
但壹貫目ニ付金何程雪中ニ付何割増并
向拂ニ付賃錢高ノ壹割増共合如斯

金何程

何所ヨリ 里程何十里以内
何所マテ 里程何十里以内
但壹貫目ニ付金何程雪中ニ付何割増并
向拂ニ付賃錢高ノ壹割増共合如斯

金何程

手數料
何々(別配達等ノ事由) 配達料
ヲ記入スヘシ

氣船等ニテ運搬セン物品ハ左ノ例ニ依ルヘシ

何々御用物 何所何某出
何官衙納

一金何程○

但何所ヨリ何所マテ運搬費何才ニ付金何程

何々(品目記入セ) 何拾才
シムヘシ)

(人馬車賃并舩船ノ運賃ハ前項ヲ斟酌シ内譯ニ明記セシムヘシ)
(荷造用品ハ備品証書式ニ依ルヘシ)

右正請取候也

何驛遞所取扱人

年 月 日

何 某 ○

何會社長或ハ何々

何會社何所出張所何々

何 某 ○

縣令宛

(第二十九圖印紙賣捌手數料証書)

證

一金何程 (種類ノ異ナル毎ニ各別ニ調製セシム可シ)

但何印紙代金何程ノ百分ノ十又ハ百分ノ七賣捌手數料

右正請取候也

何所何番地

印紙賣捌入

恩典者(非恩典者)

何 某○

年月日 縣令宛

○丙第貳拾七號 六月一日

乙第拾四號(前見)ノ通郡區役所へ相達候條爲心得此旨相達候事 警 察 分 署

○丙第貳拾八號 六月三日 各 課 署

明治十六年 丙第百三號達自今相廢候條此旨相達候事 警 察 本 署

○丙第貳拾九號 六月八日 警 察 分 署

別紙乙第百四號(前見)ノ通郡區役所戸長役場へ相達候條爲心得此旨相達候事 警 察 分 署

○丙第拾號 六月十二日 各 課 署

電報取扱手續左之通相定來ル七月一日ヨリ施行候條此旨相達候事

但明治十六年 丙第拾貳號達電信取扱手續ハ同日ヨリ廢止ス

電報取扱手續

第一條 電報ノ發著授受ハ第二條以下ニ從ヒ取扱フヘシ

保 編 土 文

第二條 庶務課文書係ニ於テハ電報取扱ノ爲メ左ノ簿冊ヲ設クヘシ

發遣電報錄

甲 貳冊

到達電報錄

乙 貳冊

電信切手受拂簿

一冊

電信切手日計簿

一冊

電信切手受渡簿

一冊

規則編冊 電信條例取扱規則ヲ編冊ス

第三條 各課署ニ於テ電報ヲ發セントスル時ハ本局判決濟(用紙ハ必ス草案)ノ原案ヲ文書係ニ交付スヘシ尤モ秘字又ハ隱語ヲ用フル時ハ發信主務員ニ於テ賴信紙へ騰寫ノ上

交付スヘシ

但監獄本署ノ發信ニシテ典獄限リ處分スルモノ及札帳測候所ヨリ發スルモノハ從前

ノ通

第四條 親展電報ヲ發スル時ハ賴信紙へ騰寫親展ノ零符號(ニカ)ノ二字(又ハ種類ヲ異

各其略)ヲ朱ヲ以テ記入シ此總字數ニ相當スル電信切手ヲ文書係ヨリ受取賴信紙へ貼

付シ固封ノ上封皮面へ發著廳人名地名番地及親展ノ二字字數等ヲ明記シ該係へ交付ス

但返信電報料ノ前納及尋問電報料ノ假拂並郵便ニ付スル電報ノ電信切手ハ電信條例第十條第十一條ニ據リ其儘添付シ貼付スヘカラス

第五條 文書係ニ於テハ電報ノ本文並各種ノ略符號字數電報料ヲ賴報紙ニ記入押印シ其字數電報及差立濟ノ旨ヲ原案ヘ記入押印シ賴報紙及原案ニ割印シ之ヲ第壹號發遣電報録ニ登記ノ後賴報紙ニ相當電信切手ヲ貼付シ電信分局ニ交付スヘシ

但電報受取証書ハ事ノ重大ニ涉リ緊要ト認ルモノニ限り請求スヘシ

第六條 電信切手ハ文書係ニ於テ日々第三號電信切手受拂簿ヲ以テ會計課用度係ヨリ受取翌朝前日ノ仕拂高殘額等ヲ該簿ニ詳記シ殘切手ヲ添ヘテ用度係ニ交付該簿ニ其證印ヲ徵スヘシ尤第三條但書ノ分ハ該主務ニ於テ便宜取扱フモノトス

第七條 發信後原案ハ主務課署ニ返付シ第壹號發遣電報録中主務課署ノ部ニ其證印ヲ徵スヘシ

第八條 各課署ヨリ交付スル電報中意味通徹セサル歟又ハ假名違等アリテ誤謬ノ患アリト認ルルキハ之レヲ主務課署ニ質シ改正セシムルコトアルヘシ

第九條 文書係退廳ノ節ハ規則編冊發著電報録及第五號電信切手受渡簿ニ電信切手凡ソ五十音信分ヲ添ヘ當直者ニ交付當直者ハ翌日參廳迄ノ間及休暇日ニ發スル電報ハ第五條第七條ニ據リテ取掛翌朝該簿及殘切手ヲ添ヘ文書係ニ交付スヘシ

第十條 休暇日及退廳後ノ發信ハ都テ主務課署ニ於テ賴報紙ニ謄寫シ原案ト共ニ當直者

ニ交付スヘシ

第十一條 第五條ニ據リ電報發遣ノ後文書係ニ於テ第四號報告書ヲ作り毎翌日用度係ニ交付スヘシ

第十二條 諸方ヨリ到達スル電報ハ文書係ニ於テ解譯シ第貳號到達電報録ニ記入シ主務課署ニ配付シ其認印ヲ徵スヘシ

但親展ハ封緘ノ儘配付スル勿論トス

第十三條 休暇日及退廳後ヨリ翌日參廳迄ノ間ニ到達ノ電報ハ都テ當直者ニ於テ第十二條ニ照シ取扱フモノトス

第十四條 凡ソ電報ヲ配付スヘキ主務課署ヲ定メ難キモノハ文書係(退廳後ハ)ニ於テ本局ノ決ヲ取ルヘシ

○第壹號

發遣電報録

電信局 ~交付	受信處 人名	發信處 人名	主務課署 ~返付	要旨	種類 別	數字 電報料
何月何日	何々	何々	何々	要旨ヲ簡明ニ摘記ス	局待 受信何字	何拾何錢
日月					秘並 知	

一金何圓何錢 何縣廳 何課何
 金、、、、、 何誰宛 係出、、、
 合金、、、錢○當直者小印
 殘金何拾何圓何拾錢○當直者小印
 右及御引渡候也
 月 日 當直○
 文書係御中○文書係員小印
 ○丙第三拾壹號 六月十八日 各課署
 別紙乙第百六號(前見)之通郡區役所へ相達候條爲心得此旨相達候事
 ○丙第三拾貳號 六月十八日 各課署
 別紙乙第百八號(前見)之通戶長役場へ相達候條爲心得此旨相達候事
 ○丙第三拾三號 六月廿三日 各課署
 本年五月丙第貳拾六號達金穀收支取扱順序書式中第貳拾壹圖第貳拾貳圖左ノ通改正シ來ル七月一日ヨリ施行候條此旨相達候事
 (第貳拾壹圖電報料仕拂證)

證
 一金何程○
 但明治何年何月中(何日何々御用ニ付何所出張「巡回」何費電報料別紙明細表ノ通右之通仕拂候處相違無之候也
 年 月 日 官 姓 名 ○
 縣 令 宛
 (貳拾貳圖電報料明細表)料紙半紙
 官 姓 名 ○
 明治何年何月中何費電報料明細表
 電 報 料
 一金何程○
 内
 (配達料并ニ手敷料等支拂無之片ハ適宜區劃ヲ省零スヘシ)
 電報受取証書
 壹通每
 錢原信
 正寫百
 字每ニ
 金貳錢
 通計

通信場所電報種別	電報料 壹錢未滿ノ端ハ切捨	配簿料 九町毎ニ金三拾錢	手敷料 別使賃壹里外
			取証書 壹通每 錢原信 正寫百 字每ニ 金貳錢 通計

或ハ人名并ニ事由	音信數	定料并別ヨリ生	郵便別	使里數并	電報受	通數
何所マテ	何音信金何程	何度金何程	金何程	金何程	金何程	金何程
何所ヨリ	何音信金何程	何度金何程	金何程	金何程	金何程	金何程
何所ヨリ	何音信金何程	何度金何程	金何程	金何程	金何程	金何程
何所ヨリ	何音信金何程	何度金何程	金何程	金何程	金何程	金何程
何所ヨリ	何音信金何程	何度金何程	金何程	金何程	金何程	金何程
何所ヨリ	何音信金何程	何度金何程	金何程	金何程	金何程	金何程
何所ヨリ	何音信金何程	何度金何程	金何程	金何程	金何程	金何程
何所マテ	何音信金何程	何度金何程	金何程	金何程	金何程	金何程

何所ヨリ	受信電報	何音信金何程	金何程	警 察 本 署	金何程
何所マテ	金ナ増ス	何度金何程	金何程	警 察 分 署	金何程
○丙第三拾四號	六月廿五日	警 察 本 署	警 察 分 署	警 察 本 署	警 察 分 署
別紙乙第百拾八號(見前)	之通郡區役所戸長役場へ相達候條爲心得此旨相達候事	警 察 本 署	警 察 分 署	警 察 本 署	警 察 分 署
○丙第三拾五號	七月二日	警 察 本 署	警 察 分 署	警 察 本 署	警 察 分 署
○丙第三拾六號	七月四日	警 察 本 署	警 察 分 署	警 察 本 署	警 察 分 署
○丙第三拾七號	七月七日	警 察 本 署	警 察 分 署	警 察 本 署	警 察 分 署

取庶

サル時ハ該地警察署又ハ郡區長戸長ノ証明書ヲ添ヘ届出ヘシ

○丙第四拾壹號 八月廿七日

警察分署

國稅中諸稅則違犯者違警罪ニ係ル處刑候節ハ其都度該言渡書ノ謄書ヲ添ヘ警察本署ヲ經由

貯稱課へ通報スヘシ

但シ明治十七年度ニ係ル分ハ此際取纏メ來ル九月十日迄ニ同様通報スヘシ

右相達候事

○丙第四拾貳號 八月廿一日

警察分署

明治十六年六月丙第三拾壹號達傳染病患者報告手續第一條但書及ヒ第五條左ノ通り改正シ其

他各條中衛生委員トアルヲ總テ戸長ト改ム

第一條

但便宜ヨリ最寄警察署又ハ分署へ報告スルモ妨ケナシ

第五條 第一條但書ノ如ク醫師ヨリ直チニ最寄警察署又ハ分署へ報告スルモノアルハ

該署長ハ其報告ニ認印ヲ押シ速ニ該町村戸長ニ回送スヘシ

右相達候事

○丙第四拾三號 九月九日

警察分署

長崎港ニ於テ虎列刺病發生其勢ヒ頗ル猖獗ヲ極メ候ニ付テハ同港ト交通スル港灣ヨリ入津ノ船舶検査方各船改所及派出所へ相達候條爲心得此旨相達候事

常

○丙第四拾四號 九月十二日

警察分署

本年三月丙第拾壹號ヲ以テ軍人軍屬ノ罪犯遞傳護送方ノ義ニ付相達候處海軍々人軍屬ノ罪犯

モ鎮守府又ハ海軍々法會議等ヨリ依頼有之分ニ限り右同様遞傳護送方取計ヘシ

右相達候事

○丙第四拾五號 九月十七日

各課署

明治十六年三月丙第拾八號達奏任官出張辭令書式左ノ通改正候條此旨相達候事

奏任官出張辭令

札幌縣何官苗字 名
御用有之何所出張被 仰付候事
年 月 日
札幌縣

本

○丙第四拾六號

九月十七日

各課署

明治十五年三月三日丙第貳號達本縣例規第一編第一章第十條左ノ通改正候條此旨相達候事

第十條 凡ソ施行文書ノ月日ハ發行ノ日ヲ記入スルモノトス

各課署

○丙第四拾七號

九月十七日

各課署

別紙乙第百七拾六號(前見)

ノ通戸長役場へ相達候條爲心得此旨相達候事

各課署

○丙第四拾八號

九月廿二日

各課署

本年八月丙第四拾號達巡查看守休暇規則第二條第四項ヲ削除ス

各課署

右相達候事

○丙第四拾九號

九月廿二日

各課署

本年五月丙第貳拾四號達現金并金券類取扱順序第二條中送金ノ下「其他取稅課主管」ノ七字刪

各課署

除候條此旨相達候事

○丙第五拾號

十一月六日

各課署

別紙乙第貳百號(前見)ノ通戸長役場へ相達候條爲心得此旨相達候事

各課署

○丙第五拾壹號

十一月九日

各課署

愛知縣下ノモノ本縣管内ニ於テ娼妓營業ヲ爲サントスルモノハ是迄本管郡區役所ノ添翰付

各課署

與候處自今警察署ノ添翰付與候趣同縣ヨリ照會有之候條爲心得此旨相達候事

各課署

○丙第五拾貳號

十一月廿四日

各課署

露西亞國太平洋艦隊附屬同國軍艦ウラジイミル、モノマフ號并グリベルグレイセル號及シ

各課署

ギト號三艦本月ヨリ向壹ケ年間我國海岸巡覽ノ爲メ不開港場へ進入且乗組員上陸ノ義許可

各課署

免狀附與相成候條寄航ノ際何等請求有之候節ハ相當ノ補助可致此旨相達候事

各課署

○丙第五拾三號

十二月五日

各課署

郵便遞送人并集配人郵便物遞送集配ノ途中罪ヲ犯シ又ハ曾テ犯罪ノ廉アリ直ニ之ヲ逮捕シ

各課署

若シハ引致候場合アルキハ代夫ヲ以テ其遞送人ノ攜帶セル郵便物ハ最寄郵便局へ集配人

各課署

ノ攜帶セル郵便物ハ所轄郵便局へ送達スヘシ尤モ代夫使用ニ係ル費用ハ照遞局ヨリ戻入ノ

各課署

等ニ付其都度關係書類相添へ申出ヘシ

各課署

右相達候事

○丙第五拾四號

十二月十二日

各課署

明治十五年三月廿二日達違警罪處分手續相廢シ更ニ違警罪即決手續左ノ通之レヲ定ム

各課署

右相達候事

違警罪即決手續

第一條 巡查其職務ヲ行フニ當リ違警罪ヲ犯シタル者ヲ見認メタル時ハ被告人ノ氏名年齢身分職業住所出生ノ地并犯罪ノ模様日時場所等ヲ手帖ニ記シ速ニ警察署又ハ分署長若シシハ其代理者ニ告發ヲ爲スヘシ

第二條 被告人引致ヲ要セサル場合ニ於テハ直ニ管轄警察署又ハ分署ニ出頭ヲ命ジ又ハ豫メ日時ヲ定メ出頭スヘキヲ命スヘシ

第三條 警察署又ハ分署ニ於テ呼出ニ依リ出廷シタル者又ハ被告人ヲ引致シタルハ直ニ訊問ヲ爲シ証憑ヲ取調其言渡ヲナスヘシ

第四條 被告事件証憑充分ニシテ本人ノ呼出ヲ要セサル場合及ヒ呼出スモ出廷セサルハ闕席ノ儘言渡ヲ爲スヘシ

第五條 闕席ノ儘言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ科料ノ假納拘留ノ保証金ヲ要スルハ巡查ヲシテ其書類ヲ送達シ該金ヲ徴收セシム若シ之ヲ肯ンセサルトキハ直ニ引致セシムヘシ

第六條 前條ノ被告人他ノ管轄内ニ係ルハ其地ノ警察署又ハ分署ニ囑託スルヲ得

第七條 第五條ノ場合ニ於テ若シ被告人不在ナレハ親族又ハ隣佑ノ者ニ書類ヲ交付シ歸宅ノ上直ニ傳達シ其日時ヲ記シタル受取書ヲ得テ届出ヘキ旨ノ受書ヲ徴收セシムヘシ

第八條 闕席ノ儘即決ノ言渡ヲ爲シタルモノニシテ其科料若シクハ拘留ノ保証金ヲ要セサルハ警察署又ハ分署所在地ニアリテハ小使遠隔ノ地ニ係ルハ便宜局長役場等ニ囑託スルヲ得

第九條 正式ノ裁判請求ノ申立ヲ受ケタルハ訴訟關係書類ノ目錄ヲ添ヘ規定ノ時間内ニ違警罪裁判所檢察官ニ送致スヘシ

第十條 科料又ハ保証金等ハ納書ヲ添ヘ差出サシメ其領收證ヲ下付スヘシ

第十一條 科料ノ言渡確定後限内納元セサルハ之レヲ呼出シ又ハ引致シテ直ニ換刑ノ處分ヲ爲スヘシ

第十二條 保証金ヲ没入シテ本刑ニ換ヘタルハ其旨言渡書ニ記人スヘシ

違警罪告發書

何府縣何國何郡區何町村番地身分職業

甲田 乙 右衛門

年 齡

年號月日時何町村巡行中甲田乙右衛門ナル者丙出丁兵衛ヲ毆打シタルヲ認メ又ハ何署所見張中甲吉方ニ於テ姓名不知者強テ合力ヲ求メ居ル旨乙平ノ報知ニ依リ現場ニ出張)即被告人ノ住所氏名等取糺シ候處前記ノ通申立タリ右ハ刑法第何條何項(又ハ札幌

縣違警罪目第何項)ヲ犯シタル者ト思料スルヲ以テ(被告人遁逃潛匿ノ恐レアリ又ハ住
所氏名不詳ナルヲ以テ引致)此段及告發候也

但被告ハ即刻若シシハ何日時出頭スヘキヲ指命シタリ

明治何年何月何日

警察署長宛
分署

何署
所在勤
巡查 何 某印

(被告人訊問調書式)

被告人訊問調

年號月日出張スル被告人何某ヲ訊問陳述ヲ錄取スル左ノ如シ

問 汝ノ氏名住所族籍職業年齢ハ如何

答 何々々

問 前科ナキヤ

答 何々

問 年號月日何村何某ヲ毆打シタル事實ヲ申立ヨ

答 何々

問 何々

答 何々

右陳述ヲ讀聞セタル處相違ナキ旨申立ルニ付署名捺印セリ

年號月日 署

於某警察署分署

印

被告人 氏 名

事由

氏

名 印

官

氏

名 印

(即決言渡書式)

言渡書

何府縣何國何郡區何町村番地身分職業

氏

名

年 齡

汝ハ年號月日何郡區何町村ニ於テ何々ヲ爲シタル所爲ハ刑法第何條第何項(又ハ札幌
縣違警罪目第何項)ニ觸ル、ヲ以テ科料金何拾錢(又ハ拘留何日)ヲ言渡スモノナリ(仍
ホ必要ト認ルニ付右科料金額假納スヘシ又ハ刑期相當ノ保証金何圓ハ即納スヘシ
但此言渡ニ付テハ明治十八年第三拾壹號布告違警罪即決例第五條ニ依リ何日内ニ其
正式ノ裁判ヲ請求スルヲ得

年號月日 署

於某警察署分署

印

官

氏

名 印

(留置命令書式)

何府縣何國何郡區何町村番地身分職業
氏名

汝ハ年號月日刑法第何條第何項(札幌縣違警罪目第何項)ヲ犯シタル科料假納金何圓
(又ハ拘留何日)ノ保證金何圓ハ即納セサルヲ以テ何日間留置スルモノナリ

年號 月日 署 印

於某警察署分署
官 氏

名 印

(正式裁判請求書送致書式)

何府縣何國何郡區何町村番地身分職業

氏名 年齡

右之者違警罪何々ノ條項ヲ犯スニ付何月何日即決例ニ依リ科料何圓(又ハ拘留何日)言
渡候處本日正式裁判ヲ中立候條別紙目錄ノ通關係書類及御送致候也

但被告ハ保証金不納ニ付某警察署又ハ分署へ留置中ニ有之候

明治何年何月何日

某警察署分署

印

某違警罪裁判所

檢察官御中

(換刑命令書式)

何府縣何國何郡區何町村番地身分職業

氏名 年齡

汝ハ何月何日何處ニ於テ違警罪何々ノ條項ヲ犯シ刑ノ言渡確定後十日ヲ經科料金何圓
納完セサルニ付拘留何日ニ換フルモノナリ

年號 月日 署 印

於某警察署分署
官 氏

名 印

(科料ヲ拘留ニ換ヘ執行中納完シタルキノ命令書式)

何府縣何國何郡區何町村何番地身分職業

氏名

汝ハ何月何日違警罪何々條項ニ依リ科料金何圓ノ言渡ヲ受納完セサルヲ以テ何月何日
拘留何日ニ換ヘ執行中今般剩ル日數何日分ノ科料ヲ納完スルニ依リ解放スルモノナリ

年號 月日 署 印

於某警察署分署
官 氏

名 印

十二月 廿五日

各 課 署

○丙第五拾五號
明治十七年八月丙第七拾壹號達本縣收稅課事務規程左ノ通更正候條此旨相達候事
但全課地方稅係事務規程ハ追テ相達スル迄從前之通

札喚縣收稅課事務規程

本課中ニ左ノ各科係ヲ置キ各其主務ヲ處理ス

本 科

庶務係

賦稅係

收納係

地方稅係

各係ニ長一人ヲ置ク

檢稅科

本 科

收稅本務ニ關スル一切ノ事務ヲ整理シ且ツ檢稅ノ事務ヲ統理ス其分掌左ノ如シ

庶務係

本務ニ關スル庶務及ヒ徵稅費會計事務ヲ調理ス

一 租稅並ニ徵稅費ニ關スル規則及ヒ稟申令達其他往復文書等ヲ查閱スル事

一 課印ヲ管守スル事

一 本課處分延滞ノ文書ヲ調査シ其主務ヲ督促スル事

一 官報ニ係ル本課ノ文書ヲ調査スル事

一 本課ノ往復文書ヲ受授スル事

一 本課ニ關スル公達其他往復文書等ヲ編纂保存スル事

一 租稅及ヒ徵稅費ニ關スル判決書中緊要ノ事項ヲ摘錄編輯スル事

一 租稅ニ關スル一切ノ事蹟ヲ輯錄シ年報書ヲ編輯スル事

一 租稅ニ關スル統計表ヲ編纂スル事

一 本課主管ノ書籍及ヒ器械ヲ管守スル事

一 本課職員履歷書ヲ整理シ及ヒ職員報告ヲ調理スル事

一 諸稅則違犯者處刑報告書ヲ調整スル事

一 徵稅費ノ出納ヲ整理シ且之ヲ調査スル事

一 徵稅費ノ豫算額ニ基キ各事業額ノ分賦方ヲ調理スル事

一 徵稅費支出ノ豫算ヲ調理スル事

一 徵稅費ノ實費月計表ヲ整理シ及ヒ決算報告書ヲ調製スル事

一 現金ヲ管守スル事

一 本課需用物品ヲ調度スル事

- 一 徵稅費出納簿冊ヲ調理スル事
- 一 徵稅費出納ニ關スル日計表ヲ調製スル事
- 一 徵稅費ヲ以テ雇使スル給仕小使等ノ勤怠ヲ監視シ及其進退取扱ヲナス事
- 一 各係ニ屬セサル事項ヲ調理スル事

賦稅係

國稅ノ賦課ニ關スル事務ヲ調理ス

- 一 國稅ノ賦課ニ關スル規則及ヒ稟申令達其他往復文書等ヲ起案スル事
- 一 地目變換ニ係ル事項ヲ調理スル事
- 一 開墾地除租及荒地免租ニ係ル事項ヲ調理スル事
- 一 民有地ニ編入スル土地ニ係ル事項ヲ調理スル事
- 一 官有地成及ヒ免租地成ニ係ル事項ヲ調理スル事
- 一 地券授與及書換等ニ關スル事務ヲ調理スル事
- 一 地租ニ關スル諸帳簿ヲ整理スル事
- 一 有税水產物ノ漁況報告ヲ調理スル事
- 一 水產稅及酒造稅釐稅ノ營業額ヲ調理スル事
- 一 酒造稅釐稅賣藥稅船稅(西洋形)鑑札ヲ下付スル事
- 一 地券用紙諸印紙諸鑑札類ヲ管守シ及受拂ニ關スル事務ヲ調理シ之カ計算表ヲ調製スル

事

- 一 印紙類賣捌ニ關スル事務ヲ調理スル事
- 一 國稅免除ニ關スル事項ヲ調理スル事
- 一 國稅ニ關スル稅表ヲ調理スル事
- 一 諸稅檢査ニ關スル報告書ヲ調理スル事
- 一 諸稅臺帳ヲ編製スル事

收納係

國稅收納ニ關スル事務ヲ調理ス

- 一 國稅收納ニ關スル規則及ヒ稟申令達其他往復文書等ヲ起案スル事
- 一 國稅金ノ領収及ヒ送納ニ關スル事務ヲ調理スル事
- 一 水產稅品ヲ送納シ及賣却スル事
- 一 水產稅品賣却代金ヲ送納スル事
- 一 水火災ニ罹リ諸稅延納ニ關スル事務ヲ調理スル事
- 一 國稅金實收高ノ月計表ヲ整理スル事
- 一 國稅ニ關スル豫算調書及ヒ増減報告書ヲ調理スル事
- 一 國稅ニ關スル皆濟帳ヲ調整スル事
- 一 國稅不納ニ係ル事務ヲ調理スル事

- 一 國稅官損及缺額補填金又ハ勘定除却ニ關スル事務ヲ調理スル事
- 一 國稅未納ノ臺帳ヲ整理シ及ヒ年度後追納ノ仕譯書ヲ調理スル事
- 一 國稅過誤納還付及ヒ更正ニ關スル事務ヲ整理スル事
- 一 諸印紙買上代金ニ係ル事務ヲ調理スル事
- 一 爲換方税金取扱方ヲ監督スル事
- 一 國稅收納簿冊ヲ調製スル事
- 一 國稅收納ニ關スル日計表ヲ調製スル事
- 一 國稅決算帳ヲ調製スル事

檢稅科

- 一 租稅檢査ニ關スル一切ノ事務ヲ整理ス
- 一 地租檢査ニ關スル實地檢査ヲ爲ス事
- 一 水產稅酒造稅醬麴稅煙草稅賣藥稅船車稅證券印稅等ヲ檢査スル事
- 一 有稅水產物一期限リノ營業願ヲ調理シ且ツ鑑札ヲ下付シ其旨開申スル事
- 一 有稅水產物ノ漁況ヲ報告スル事
- 一 諸稅檢査ニ關スル帳簿ヲ調製スル事
- 一 諸稅檢査ニ關スル報告書ヲ調製スル事
- 一 水產稅ノ豫算書及ヒ増減報告書ヲ調製スル事

收庶

- 一 収稅庫ヲ管守スル事
- 一 水產物稅納ノ期日ヲ定メ之ヲ收納スル事
- 一 水產物稅納額ヲ報告スル事

各課署

○丙第五拾六號 十二月廿五日
明治十七年十一月十八日 丙第八拾三號 達本縣收稅長職務條款第五項刪除候條此旨相達候事

○丁號ノ部

- 丁第一號 十一月十五日
函館控訴裁判所判事長安道一廳務代理ヲ解ク
- 丁第二號 十一月十五日
全上檢事根岸敬全上
- 丁第三號 十一月十五日
石川縣加賀國石川郡金石港倉部與之松營傳丸ニ乘組暴風激浪ニ吹流行衛不知
- 丁第四號 十一月十五日
海軍機關學校ニ於テ生徒撰舉
- 丁第五號 十一月廿一日
後志國高島郡祝津村白鳥榮作昆布刈營業免許鑑札流失

水 兵 常 本 水

常

○丁第六號 廿一月

青森縣下北津輕郡嘉瀬村神崎才次郎筏散亂入水ノ儘行備不知

○丁第七號 廿一月

東京府平民川名保五郎外十一名出版略曆發賣差止

地利

○丁第八號 廿一月

明治十三年二月二日 舊開拓使本廳達甲第拾壹號布達郡區長特別委任條件中へ第六拾四チ追加候段
客年十二月 丁第百貳拾六號ヲ以テ告示及置候處更ニ左之通改正ス

第六十四 海産干場ニ連絡スル官有海濱河岸拜借返上及ヒ私有海産干場貸借願ノ事

右告示候事

地利

○丁第九號 廿一月

石狩國札幌區南四條増永茂吉地券証紛失

○丁第十號 廿一月

和歌山縣平民塩崎茂兵衛出版略曆發賣差止

○丁第十壹號 廿一月

太政官布達ニ屬スル見本郡區役所へ下渡置

雜租

○丁第十貳號 廿一月

秋田縣平民白澤藤吉外百四拾名諸營業免許鑑札其他紛失流失或ハ携帶失跡

本

○丁第十參號 廿一月

札幌始審裁判所檢事補上嶋職代理解任

本

○丁第十肆號 廿一月

愛知縣平民都築吉三郎外一名出版略曆發賣差止

本

○丁第十伍號 廿一月

愛知縣士族山口佳太郎外一名出版略曆發賣差止

水産稅

○丁第十陸號 卅一月

石川縣平民菅前村寄留角覺三郎海鼠曳營業鑑札流失

地利

○丁第十柒號 卅一月

増毛郡岸田利右工門地券紛失

地理

○丁第十捌號 卅一月

管下石狩國空知郡市來知村官有地内借地人ニ關スル事務左ノ項目該郡長へ特別委任候條此
旨告示候事

一借地人心得書ニ通ニ依リ處分スルヲ

一空知集治監用地内ハ全監ニ於テ貸渡シ坪數及借地人族籍氏名等ヲ記詳シタル書類添一

時本縣へ引渡可相成順序ニ付全監ヨリ引渡ノ義通知アラハ受取方取計ヲ

一本縣へ受取濟ノ地所該借地人期限滿チ又ハ事故アリテ期限内返地セシ跡チ借地出願ノ

者處分ノ

○丁第拾九號 九二日 月
大坂府平民札幌區寄留黑松市藏外一名賣藥行商鑑札攜帶行衛不知

○丁第貳拾號 九二日 月
愛媛縣平民山知來造外四名出版略曆發賣差止

○丁第貳拾壹號 十二日 月
石狩郡白井松五郎妻地券証攜帶失踪

○丁第貳拾貳號 十二日 月
兌換銀行券拾圓見本所轄郡區役所へ下渡置シ

○丁第貳拾三號 十四日 月
當縣下ノモノニシテ佐賀縣ニ於テ貸座敷藝妓營業ヲ爲サント欲スルモノハ自今郡區役所へ願出添翰ヲ受シヘシ

右告示候事

○丁第貳拾四號 十七日 月
福島縣士族諏訪美國外二名出版略曆發賣差止

○丁第貳拾五號 廿一日 月
山口縣玖珂郡平民沖中岩五郎外一名破船沈没行衛不知

醫 本 地租 常 本 常

常

本

本

本

醫

○丁第貳拾六號 廿一日 月
明治十一年十二月 舊開拓使本廳甲第四拾九號ヲ以テ車馬行逢候節互ニ左方ニ避讓スヘキ旨布達及置候處軍隊並砲車輜重車ニ行逢候時ニ限り右方へ避讓スヘシ

右告示候事

○丁第貳拾七號 廿一日 月
積丹郡平民田中善吉外一名鮑突營業免許鑑札紛失

○丁第貳拾八號 廿六日 月
愛知縣平民吉田伊兵衛出版略曆發賣差止

○丁第貳拾九號 廿六日 月
全縣全上田島清次郎以下全上

○丁第三十號 三三日月
醫師養成規則別紙之通相定候條此旨告示候事
但學生召募並試驗科目等ハ二月以前廣告スヘシ

醫師養成規則

第一條 本縣在籍ノ者ニシテ醫學ニ志アルモ學資ヲ自辨シ能ハサル者ハ試驗ノ上毎年五名以下ヲ限リ縣廳ヨリ學資ヲ給シテ甲種醫學校ニ入學セシム
但シ他府縣ノ者ト雖モ全戸寄留ノ者ハ入學セシムルコトアルヘシ

第一條 本科又ハ豫科生徒タランモノハ品行端正躰質強健修業中家事係累ナキ者ニ限ル
但入學スル教則其他諸規則ニ從フハ勿論タルヘシ

第三條 修學ヲ願フ者ハ第一號書式ノ願書ヘ履歷書ヲ添ヘ願出ツヘシ

第四條 修學許可ヲ得タル者ハ本縣在籍ノモノニシテ相當ノ不動産ヲ有シ正實ナル保証
貳名已上ヲ立テ第二號書式ノ証書ヲ差出スヘシ

第五條 保証人轉居改印其他身分上ノ異動アル片ハ必ス届出ヘシ
但保証人他管ヘ轉籍スルカ又ハ死亡スルカ輕重罪ヲ犯シ處分ヲ受ケタル片ハ更ニ保
証人ヲ立ツヘシ

第六條 修學卒業ノ後本科ヨリスルモノハ滿四年豫科ヨリスルモノハ滿五年以上管内公
立病院ノ内ヘ從事セシム

(第一號)修學願書式 (用紙美濃紙)

私儀醫學志願ニ付御試驗ノ上何レノ學校ニテモ入學御許可被成下度別紙履歷書添保証
人連署此段奉願候也

札幌縣何郡(區)何町(村)何番地

華士族平民何誰子弟

願人

何

某印

何年何ヶ月

札幌縣何郡(區)何町(村)何番地

華士族平民

保証人

何

某印

同上

同上

何

某印

札幌縣令宛

前書願出候ニ付奥印ノ上進達仕候也

何郡區町村

戶長

何

某印

履歷書 (用紙美濃紙)

札幌縣何郡(區)何町(村)何番地

華士族平民何誰子弟

何

某

生年月

一何年何月何府縣何學校ニ於テ小學中等科第級或ハ何等卒業

一何年何月ヨリ何年何月迄何誰ニ就キ何學修業

一何年何月ヨリ何月マテ何醫學校或ハ何病院ニテ何學修業
一何年何月何日何府縣ニ於テ何拜命月俸金何圓
一凡テ賞罰ニ關スル事件ハ詳細ニ記載スヘシ
右之通相違無之候

何 誰 印

(第二號)修學証書

印紙

札幌縣何郡(區)何村何番地
華士族平民何誰子弟

何 某

右之者醫學修業志願ニ付御試驗相受ケ候處今般何府縣何醫學校へ入學御許可相成候ニ
付テハ教則其他堅ク爲相守可申目ツ卒業ノ後チハ當御管内何ノ地方へナリ奉仕可致
旨御命令相成候節ハ聊カ異議不申上候萬一學術不勉強品行不正等ニテ退校被命歟又ハ
不得已退校御許可ヲ得ル歟若シハ奉職年限中解職被命歟又ハ不得已辭職候節ハ學資金
ハ保証人ニ於テ一時ニ償還可仕候仍テ証書如件

札幌縣何郡(區)何村何番地
華士族平民

年月日

保証人 何ノ誰印
同上 何ノ誰印

札幌縣令宛

○丁第三拾壹號

三三三
日日月月

藥品検査印紙見本各郡區役所へ下渡置ク

○丁第三拾貳號

六三六
日日月月

福岡縣下筑前國宗像郡地島村地島港波止修繕費爲消却本月十日ヨリ向三十年間入港ノ船舶
ヨリ左記ノ通公費取立ノ義許可候趣同縣ヨリ通知有之候條此旨告示候事

- 一漁船 一艘ニ付金五錢
- 一日本形拾反帆以下船舶 帆一反ニ付金二錢五厘
- 一全十一反以上廿反帆以下船舶 帆一反ニ付金二錢
- 一全廿一反以上 帆一反ニ付金一錢五厘
- 一西洋形船舶 一噸ニ付金五厘

但碇泊五日ヲ過ルキハ更ニ本項ノ通五日毎ニ取立ルモノトス

○丁第三拾三號

六三六
日日月月

石狩郡本町其他ニ關スル地所其他書入質入等錯雜更正ニ付右ニ關スル者ハ五月卅一日限全

郡役所へ申出シム

○丁第三拾四號 六月三日

宗谷郡寄留栖原小右衛門外六拾四名船鑑札其他流失紛失

○丁第三拾五號 九月三日

佐藤大書記官縣令ノ代理ヲ解ク

○丁第三拾六號 十一月三日

海軍兵學校ニ於テ生徒ヲ召募ス

○丁第三拾七號 十一月三日

今般丁第三拾號ヲ以テ醫師養成規則告示候ニ付テハ豫テ其筋ニ於テ定メラレ候醫學校通則別紙之通ニ候條此旨告示候事

(別紙)

府 縣

醫學校通則別冊之通相定候條此旨相達候事

明治十五年五月廿七日

文部卿福岡孝弟

醫學校通則

第一章 總則

第一條 醫學校ハ此通則ニ遵ヒ醫學ヲ教授スル所トス

第二條 醫學校ハ之ヲ分テ甲乙二種トス甲種ハ尋常ノ醫學科ヲ教授シ以テ醫師ノ具成ヲ

圖リ上欸ニ遵ヒ之ヲ設置スルモノトス乙種ハ簡易ノ醫學科ヲ教授シ以テ醫師ノ速成ヲ

圖ルトキ若シハ甲種ヲ設置スル能ハサルトキニ於テ下欸ニ遵ヒ之ヲ設置スルモノトス

第三條 醫學校ニ於テハ臨床實驗ノ用ニ供スルニ足ルヘキ病院ノ準備アルヲ要ス

上欸

第二章 學科目

第四條 甲種醫學校ノ學科ハ少クモ左ニ掲グル諸目トス

物理學 化學 動物學

植物學 解剖學 組織學

生理學 病理學 藥物學

內科 外科 眼科

產科 內科臨床講義 外科臨床講義

衛生學 裁判醫學

第三章 修業年限日數及時數

第五條 甲種醫學校ノ修業年限ハ四箇年以上トス

第六條 甲種醫學校ノ授業日數ハ少クモ毎年三十二週ヲ下ルヘカラズ

第七條 甲種醫學校ノ授業時間ハ一週二十四時ヲ以テ度トス

第四章 入學生徒ノ資格

第八條 甲種醫學校ニ入學スル生徒ハ品行端正體質強健ニシテ年齡十八年以上トス

第九條 甲種醫學校ニ入學スル生徒ハ初等中學校卒業以上ノ學力ヲ有スル者若シハ少

シトモ左ニ掲グル科目ニ就テ初等中學校以上ノ學力ヲ有スル者タルヘシ

和漢文 算術 代數

幾何 物理學 化學

動物學 植物學

第五章 教員ノ資格、員數

第十條 甲種醫學校ノ教員中少クトモ三名ハ東京大學ニ於テ醫學士ノ學位ヲ得タル者ヲ

以テ之ヲ充テ主トシテ重要ノ學科ヲ分擔セシムヘシ

但他ニ相應ノ學力ヲ有スル者アルトキハ文部卿ノ認可ヲ經テ本文醫學士ニ代フルコトヲ得

下款

第六章 學科目

第十一條 乙種醫學ノ學科ハ左ニ掲グル諸目トス

物理學 化學 解剖學

生理學 藥物學 內科

外科 眼科 產科

內科臨床講義 外科臨床講義

第七章 修業年限日數及時數

第十二條 乙種醫學校ノ修業年限ハ三箇年トス

但此年限ヲ一年以內増加スルコトアルヘシ

第十三條 乙種醫學校ノ授業日數及授業時間ハ第六條第七條ニ準ス

第八章 入學生徒ノ資格

第十四條 乙種醫學校ニ入學スル生徒ハ其品行、體質、年齡總テ第八條ニ準ス

第十五條 乙種醫學校ニ入學スル生徒ハ左ニ掲グル科目ニ就キ概テ初等中學校ノ學力ヲ

有スル者タルヘシ

和漢文 算術 物理學

但此他第五條ニ掲グル諸科目中一科若シハ數科ニ就キ本文ノ學力ヲ要スルコトアルヘシ

第九章 教員ノ資格、員數

第十六條 乙種醫學校ノ教員中少クトモ一名ハ總テ第十條ニ準スヘキモノトス

○丁第三拾八號 三十一日 道路修繕ノ爲メ豊平川中洲砂利堀採出願者ヘハ實地差支ナキ場處ニ限り許可セシム

第

○丁第三拾九號

三月廿四日

當縣下ノ者若キ縣下ニ於テ貸坐敷并藝娼妓營業ヲ爲サント欲スル者ハ自今所轄郡區役所ノ添翰ヲ受クヘシ

右告示候事

○丁第四拾號

三月廿七日

鳥取縣管下左ノ各港へ出入ノ船舶ハ其都渡船長船頭等ヨリ其町村役場へ左ノ項目申出ヘキ旨全縣ヨリ申來候條此旨告示候事

港名

- 一 因幡國高取郡 加露港
- 一 伯耆國河村郡 橋津港
- 一 全 國八橋郡 赤崎港
- 一 全 國會見郡 米子港
- 一 全 國全 郡 境 港
- 一 申出ヘキ項目
- 一 日本形ハ積石數
- 一 西洋形ハ噸數
- 一 積荷ノ品目及其數量代價

本

一 荷物仕向ケ先及仕出シ元
一 船舶定繫所及船長船頭ノ氏名

○丁第四拾壹號

三月廿七日

岐阜縣平民松野兼次郎編輯方位便覽ハ略本曆類似ノ者ニ付出版發賣ヲ差止

○丁第四拾貳號

三月廿七日

高島郡色内町番外地へ監獄支署ヲ設置シ小樽監獄ヲ署ト名稱シ來ル四月一日ヨリ開署ス

右告示候事

○丁第四拾三號

三月卅一日

公立私立學校生徒ノ内本人ハ勿論其家内ニ於テ麻疹病者アルハ全癒又ハ死亡後一週日ヲ

經サレハ登校スヘカラス

右告示候事

○丁第四拾四號

四月六日

札幌縣平民古川寅吉砂利堀採鑑札ヲ遺失ス

○丁第四拾五號

四月六日

內國通運會社々員遊遊局印鑑ヲ遺失ス

○丁第四拾六號

四月十一日

積丹郡野塚村龜田善太郎自宅ニ於テ地券紛失

警

○丁第四拾七號 四月十一日

明治十三年二月舊開拓使本廳達甲第拾壹號布達郡區長特別委任條件中へ第六十三項追加ノ義客年十二月丁第百一拾三號ヲ以テ告示及置候處右第六十三項養病ノ下「私事旅行」ノ四字ヲ

挿入ス

右告示候事

○丁第四拾八號 四月十一日

高島郡祝津村青塚龜藏御師釣營業鑑札流失

○丁第四拾九號 四月十一日

札幌始審裁判所判事補千葉元貞職務ヲ代理ス

○丁第五拾號 四月十七日

茨城縣平民飯島半編輯ノ乙酉方位吉凶一覽ハ略本曆類似ノ者ニ付出版發賣ヲ差止

○丁第五拾壹號 四月廿二日

明治十三年二月舊開拓使達甲第拾壹號布達郡區長特別委任條件中へ左ノ一項ヲ追加候條此旨

告示候事

第六十五 水産物ヲ有税品ニ製造願ノ事

○丁第五拾貳號 四月廿二日

海軍兵學校ニ於テ養ニ生徒十八名召募告示ノ處更ニ七十二名ヲ召募ス

兵

○丁第五拾三號 四月廿五日

海軍機關學校ニ於テ生徒四十八名ヲ召募ス

○丁第五拾四號 四月廿五日

文部省印行圖書拂下規則同賣捌人心得書別冊之通被定候ニ付賣捌望ノモノハ該則相心得出願候様可致此旨告示候事

(別冊)

文部省圖書拂下規則

第一條 文部省刊行圖書ノ賣捌ヲナサントスルモノハ其由ヲ記シテ願出ツヘシ當省ニ於テ調査ノ上不都合ナキ者ト認ムルキハ先ツ二ヶ年間之ヲ許可スヘシ

第二條 東京府外ノ者ニシテ前條ノ許可ヲ得タルキハ府内ニ相當ノ代理人ヲ置クヘシ

第三條 前條ノ許可ヲ得タル者ハ身元保證トシテ額面金三百圓以上貳千圓未満本人記名ノ公債證書ヲ文部省へ差出シ置クヘシ

第四條 賣捌人ニ於テ拂受ケタル圖書ノ代價ハ拂下ケタル月ヨリ三ヶ月目ノ二十日限り

納付スヘキモノトス

但起算ノ法ハ一月内ニ拂下ケタル代金ハ三月二十日限り納付スルヲ以テ例トシ其他

之ニ準ス

第五條 賣捌人ニ於テ納付スヘキ圖書代金ヲ延怠スルキハ身元保證公債證書ヲ賣却シテ

之ヲ辨償スヘシ

第六條 賣捌人ニ於テ身元保證公債證書ノ實價ニ超過スル價格ノ圖書ヲ拂受ケントスルトキハ現金ヲ納付スヘシ

第七條 賣捌人ニ於テ以上ノ條件ニ背違シ又ハ他ニ不都合ノ所爲アルキハ賣捌許可期限内ト雖モ賣捌ヲ停止スルコトアルヘシ

第八條 第一條ノ手續ヲ經サル者ト雖モ一種ノ圖書拾部以上ヲ請求スルキハ現金ヲ以テ拂受クルコトヲ得ヘシ

第九條 圖書ノ拂下ヲ願フキハ甲號書式ニ依リ先ツ書名部數ヲ記シテ認可ヲ得ヘシ但拂下ノ認可ヲ得タル圖書ト雖モ該日ヨリ二十日間ヲ經過スルキハ之ヲ止ムルモノトス

第十條 第九條ノ認可ヲ得タルキハ乙號書式ニ依リ圖書代金ヲ納付スヘシ但東京府區外ノ者ハ銀行或ハ郵便爲替券ヲ以テ納ムヘシ

第十一條 東京府外ノ者第八條ニヨリ圖書拂下ヲ請求スルキハ其運搬人ヲ指定スヘシ若シ運搬人ヲ指定セサルキハ

會社等ニ託シ回送セシムヘシト雖モ其荷造費並ニ運搬費ハ拂受人ヨリ直チニ該社ニ支拂フヘシ

ニ於テハ關係セサルモノトス

圖書御拂下願	
甲	一何書 全何部 一同 何ノ卷何冊
號	右御拂下被成下度願候也
書	年月日 姓名印 住所
式	文部省 御中

上納證	
乙	一金何圓 內譯 何書何部 金何圓 但壹部金何錢 金何圓 何書何冊 但壹冊金何錢
號	右ハ年月日拂下認可相成候ニ付書籍代金(爲換券ヲ以テ上納スルキハ下文ヲ記ス)何々爲換券ヲ以テ正ニ上納仕候也
書	年月日 姓名印 住所
式	文部省 御中

(用紙半紙 二通ヲ出ダスヘシ)

(用紙半紙)

文部省圖書賣捌入心得

第一項 圖書拂下規則第一條ノ賣捌期限盡ルノ後再願スルキハ期限中本人ノ當省へ對スル所爲ヲ調査シ不都合ナキキハ再許スヘシ
但シ再許セサル者ハ其拂受タル圖書代金ヲ其際悉皆上納スヘシ

第二項 圖書代金上納ヲ延滞スルキハ拂下規則第五條ニ依テ處分スヘシ
但賣却シタル公債金額圖書拂下高ヨリ超過スルキハ之ヲ計算シテ剩餘ノ金額ハ本人ニ還付スヘシ

第三項 圖書拂下規則第六條公債證書ノ實價ハ當省ニ於テ定ムヘシト雖モ凡ソ大藏省明治十六年八月國立銀行へ達ノ價格ヲ以テ標準トスヘシ

第四項 拂下規則第三條ニ依リ身元保證トシテ公債證書ヲ出スキハ左ノ書式ニ從ヒ之ヲ添付スヘシ

何某記名
何朱利付
一何々公債證書額面金何圓
何葉

内 譯

額面金何圓證書 何號 何番
同 金何圓證書 何號 何番

右ハ圖書拂下規則第三條ニ依リ身元保證トシテ前記ノ額面差出候若シ圖書拂下代金延滞ノ節ハ御省ニ於テ賣却相成候共異存不申上候依之委任狀相添へ候也

年月日 姓 名 印 住 所
文部省御中

(五厘印紙貼用)
拙者儀別紙記號 何番
何號ノ何々公債證書幾葉圖書拂受代價トシテ差出候ニ付文部省
ヲ以テ部理代人ト定メ拙者ノ名義ニテ左ノ權限ノ事ヲ委任ス
一何々公債證書賣却ノ事
右代理ノ委任狀仍テ如件

年月日 族籍 姓 名 印 住 所

第五項 賣捌入ヨリ身元保證トシテ公債證書ヲ出スキハ當省ヨリ左ノ預リ證書ヲ本人ニ

共ニ用紙ハ美濃紙

交付スルモノトス

何々公債證書預り證

何某記名

何朱利附

一何々公債證書額面金何圓

何葉

内譯

額面金何圓

何號

何番

同金何圓

何號

何番

持主

族籍 姓

名 住所

右ハ圖書拂下規則第三條ニ依リ身元保證トシテ前記ノ額面差出シ正ニ預リ置候若シ圖書拂下代金延滞ノ節ハ拂下規則並ニ賣捌人心得書ニ照シ處分スヘシ候也

文 部 省 印

年 月 日

賣捌人願書書式

(用紙美濃紙ヲ用ヒ二通差出スヘシ)

文 部 省 藏 板 圖 書 賣 捌 願

一私儀云々ノ事由ヲ記ス

族籍

職業

年 月 日

姓

名

印

住 年 所 齡

文 部 省 御 中

様

○丁第五拾五號

四 月 廿五日

民設博覽會開設候節ハ發會前該規則書添可届出且ツ閉會後該會ノ景况別紙書式ニ照シ取調届出スヘシ

但共進會品評會其他博覽會ニ類似ノモノモ本文ニ準シ届出スヘシ
右告示候事

明治 札幌縣下民設博覽會景况報告書

何年

會場 地名

札幌縣下何國何郡何地

會主

何某又ハ何會社

開場

何月何日

閉場

何月何日

通券價格 何程 又ハ平日何程
 通券料收額 何程 日曜何程
 出品主 何人
 觀客 何人 又ハ平日何人
 列品數 何品 日曜何人
 內
 天產物 何品
 製工品 何品
 器械 何品
 列品總價 何品
 但賣不賣品ノ別ナク其品ヲ賣却スヘキ價格ヲ記スヘシ
 列品賣數 何品
 全上價格 何程
 但別ニ賣店ヲ設クルモノハ其賣數價額ヲ別記スヘシ
 褒賞授付 何人
 內
 特別何人 一 二 何人

三等何人 四等何人 五等何人
 六等何人 追賞何人
 但シ尙此外ニ等級及ヒ褒狀其他等級ヲ付セス物品ヲ授付シ甲乙ノ種類等アラハ
 夫々分記スヘシ
 會場總費 何程
 內
 何程 通券料
 何程 何費又ハ會社費
 審査員 何名
 內
 審査物品何々 族籍 姓名
 全 上 全 上
 出品目錄及ヒ審査薦告狀雛形
 一般ノ景況云々
 但列品中特異發見ノ鑛物若シクハ有用動物ノ近來生殖セルモノ製工品ハ從前其地
 方ニナキ所ニシテ新ニ製出セシモノ就中輸入品ニ代用スヘキモノハ器械ハ新發明若
 シハ洋式模造ニテ便益ノ實驗アルモノ等ハ特ニ之ヲ標記シ其他一般物産工藝ノ進歩

及ヒ通商運輸ノ得失等都テ緊要ノ景況ヲ記スヘシ
 但連年開設スルモノハ前年ト比較ノ景況ヲ舉ケ其損益及ヒ保續ノ目的等ヲ記スヘシ

會主 何々

本 本 本 常 取
 ○丁第五拾六號 四月廿六日
 札幌始審裁判所判事補千葉元貞廳務代理ヲ解
 ○丁第五拾七號 四月廿八日
 全所及治安全上昇降時限及諸願伺屆等差出時限ヲ變更ス
 ○丁第五拾八號 四月廿八日
 浦河治安裁判所司法省十七等出仕内藤雄平廳務ヲ代理ス
 ○丁第五拾九號 四月廿八日
 本年三月丁第三拾九號告示但書ヲ削除ス
 右告示候事
 ○丁第六拾號 五月五日
 根室縣管内ニ於テ地所々有ノ者除租滿期ノモノハ明治十年十二月乙卯貳拾五號舊開拓使布達第九條ニ據リ除租滿期ノ年六月三十日迄ニ申出ヘキ管ノ處往々期日ヲ誤リ申出サル者モ有之候ニ付心得違無之様可致旨該管内ヘ告示候ニ付本縣管下居住ノ者ニシテ同縣管下ニ於テ

地 土 工 地 租 醫 本 醫 土
 地所々有除租滿期ノモノ有之候ハ、同様注意可致此旨告示候事
 ○丁第六拾壹號 五月四日
 根室縣下官有地五年ナ一期トシ貸渡ヘキニ付來ル十一月三十一日迄ニ出願セシム
 ○丁第六拾貳號 五月四日
 砂利堀採鑑札遺失
 ○丁第六拾三號 五月四日
 兵庫縣下飾磨港浚渫費收入年限滿期ニ付十七年十二月限廢止ス
 ○丁第六拾四號 五月四日
 地券證發見及遺失
 ○丁第六拾五號 五月六日
 醫術開業試驗出願後事故アリ試驗受難モノハ其事由ヲ届出シム
 ○丁第六拾六號 五月十五日
 札幌始審裁判所長上京不在中判事補廳務代理ス
 ○丁第六拾七號 五月廿五日
 賣藥受賣鑑札紛失
 ○丁第六拾八號 五月廿二日
 砂利堀採鑑札遺失

保 本 本 工

○丁第六拾九號 五月 廿二日

種痘施術心得書

○丁第七拾號 五月 廿二日

本月第八號布達ニ屬スル見本郡區役所へ下渡置

○丁第七拾壹號 五月 廿五日

函館縣控訴裁判所長上京不在中判事廳務ヲ代理ス

○丁第七拾貳號 五月 廿五日

秋田縣下南秋田郡戸賀港へ同港淺野喜助等私費ヲ以テ燈臺ヲ建築シ右建築費用支消ノ爲メ

本年四月一日ヨリ左之通入港ノ船舶ヨリ港錢取立ノ儀許可致シ候旨同縣ヨリ照會有之候條

此旨告示候事

港錢取立願

一 西洋形船舶一噸ニ付

金壹錢五厘

一 日本形積石五十石以上帆一反ニ付

金貳錢

一同 五十石以下壹艘ニ付

金拾錢

○丁第七拾三號 五月 廿七日

管下石狩國樺戸郡月形村官地借地人ニ關スル事務左ノ項目該郡長へ特別委任候條此旨告示

候事

醫

地租

職

地

一 借地人心得書ニ依リ處分スルコト

一 樺戸集治監用地内ハ同監ニ於テ貸渡シ其地積及借地族籍氏名等ヲ詳記シタル書類添本

縣へ引渡可相成順序ニ付同監ヨリ引渡ノ儀通知アラハ受取方取計フコト

一本縣へ受取濟ノ地所借地人期限滿チ又ハ事故アツテ期限内返地セシ跡ヲ借地出願ノ者

處分ノコト

○丁第七拾四號 五月 廿九日

賣藥行商鑑札携帶失踪

○丁第七拾五號 五月 廿九日

地券証紛失

○丁第七拾六號 五月 三十日

縣令出京不在中大書記官廳務代理ス

○丁第七拾七號 六月 一日

管下天壇國増毛郡増毛市街署寒畠中永壽辨天稻葉ノ五箇町各壹丁目トシ同町ヨリ南北兩所

へ左ノ町名及市街境ヨリ暑寒別川ニ沿ヒ東南宇黒岩近傍ニ至ルノ間へ左ノ村名新設候條此

旨告示候事

暑寒町自二丁目

至五丁目

畠中町 自二丁目 至五丁目
 永壽町 自二丁目 至五丁目
 稻葉町 自二丁目 至四丁目
 辨天町 自二丁目 至五丁目
 暑寒裏町 シヨカンウラ
 島中裏町 ハダナカウラ
 暑寒澤村 シヨカンザ
 ○丁第七拾八號 六月一日
 賣藥行商鑑札ヲ携帶失踪ス
 ○丁第七拾九號 六月一日
 高知縣下土佐國安藝郡甲浦港へ人民自費ヲ以テ燈臺建築候ニ付該費償却ノ爲メ入港ノ船舶
 ハ本年五月一日ヨリ來ル明治廿八年六月三十日迄ハ左記ノ通同年七月以降ハ永年右半額帆
 別錢取立之議許可候旨同縣ヨリ照會有之候條此旨告示候事
 取立法
 一日本形船四反帆以下 壹艘 金四錢

但日數三日以上滯港ノ釣溜漁船ニ限リ四日ヨリ金貳錢ヲ減ス
 一同五反ヨリ拾五反帆迄 每壹反ニ付 同貳錢増
 一同拾六反帆以上 每壹反ニ付 同三錢増
 但甲浦港内定繫ノ漁船ハ此例ニ非ス
 一西洋形船舶 壹噸ニ付 同三錢宛
 ○丁第八拾號 六月三日
 自今醫術開業免狀ヲ所持スルモノニシテ他管下ヨリ本縣下へ轉籍寄留シタル者及本縣ヨリ
 他管下へ轉籍寄留セントスル者ハ醫術ニ關スル履歷書并開業免狀寫ヲ添へ其都度速ニ届出
 ツヘシ此旨告示候事
 ○丁第八拾壹號 六月十六日
 本年根室縣ニ於テ開設スル北海道物産共進會規則審査規則及縱覽規則ヲ定ム
 ○丁第八拾貳號 六月十六日
 増毛郡別所岩尾兩村戸長役場相廢シ爾後戸長ノ事務ハ該郡長ヲシテ取扱ハシメ候條此旨告
 示候事
 ○丁第八拾三號 六月廿六日
 磯船發見
 ○丁第八拾四號 六月廿七日

機船及營業鑑札紛失
 ○丁第八拾五號 六月三十日
 明治十五年度地方費收支精算左之通
 右告示候事

收入ノ部

一金壹萬七千七百貳拾九圓八拾錢三厘
 一金拾貳萬七千四百九拾七圓拾三錢
 一金貳萬四千四拾壹圓九拾壹錢八厘
 合金拾六萬九千貳百六拾八圓八拾五錢壹厘

地方稅
 出港稅
 雜收入

支出ノ部

一金四萬六千六百貳拾圓四拾壹錢六厘
 一金三萬貳千四百五拾三圓貳拾壹錢
 一金三萬千八百六拾六圓九錢九厘
 一金貳萬九千四百壹圓貳拾貳錢五厘
 一金壹萬三千貳百四拾六圓拾八錢貳厘
 一金三萬七千五百六拾九圓
 一金三萬六千七百八拾五圓三拾五錢壹厘

警察費
 土木費
 營繕費
 衛生及病院費
 教育費
 郡區役所諸費
 戶長役場諸費

一金百三拾八圓五拾九錢六厘
 一金貳圓三錢貳厘
 一金三千貳百八拾三圓六拾七錢六厘
 一金四千九百三拾貳圓四拾貳錢五厘
 一金三千貳百七圓七拾四錢
 一金九千九百七拾八圓八拾四錢壹厘
 一金六千三百九拾八圓拾八錢
 一金四百三拾五圓七拾五錢
 一金六百圓
 一金壹萬五千九百拾四圓貳拾九錢壹厘
 一金貳千貳拾六圓七拾貳錢四厘
 一金壹萬五千八百六拾六圓八拾八錢五厘
 一金三千百七拾三圓三拾九錢壹厘
 合金貳拾九萬三千貳百貳拾圓六拾貳錢三厘

救育費
 浦役場及難破船諸費
 諸書及揭示諸費
 勸業費
 有害鳥獸獲殺手當
 船政所諸費
 驛遞諸費
 消防費
 經費金取扱手数料
 獄署諸費
 未決人諸費
 既決人諸費
 雜件

內

金貳百拾四圓八拾三錢

前年度ヨリ繰越金

金拾六万九千貳百六拾八圓八拾五錢壹厘 地方收入
金拾貳万三千七百三拾六圓九拾四錢貳厘 國庫俸給
外金三万百八拾六圓五拾五錢八厘 翌年度繰越金

○丁第八拾六號 六月
客年十一月十一日 丁第百拾五號告示管内國縣道渡船場ノ内札幌郡江別川ノ渡船ハ本月限リ相廢シ來ル七月一日ヨリ同所鐵道線通行差許候條此旨告示候事

○丁第八拾七號 六月
岩内郡野東敷島内兩村戸長役場本月二十日限リ相廢シ爾後戸長ノ事務ハ該郡長チシテ取扱ハシメ候條此旨告示候事

○丁第八拾八號 六月
明治十三年二月舊開拓使本廳達甲第拾三號布達戸長配置ノ内左ノ通改正來ル七月一日ヨリ實施候條此旨告示候事
有珠郡各村

右ノ戸長壹人
○丁第八拾九號 六月
明治十八年度地方豫費算左ノ通
右告示候事

収入ノ部

- 一金壹萬九千百九拾壹圓
- 一金六萬三千六百貳拾五圓
- 一金壹萬三千三百圓
- 合金九萬六千百拾六圓

地方稅
出港稅
雜收入

支出ノ部

- 一金四萬四千五拾四圓
- 一金四萬五千百貳拾圓
- 一金壹萬四千四百五拾貳圓
- 一金壹萬三千六百八拾七圓
- 一金壹萬三千六百八拾壹圓
- 一金五萬貳千貳百五拾貳圓
- 一金貳萬七千五百八拾圓
- 一金百八拾七圓
- 一金三拾三圓
- 一金三千五百拾六圓

警察費
土木費
營繕費
衛生及病院費
教育費
郡區役所諸費
戸長役場諸費
救育費
浦役場及難破船諸費
諸達書及揭示諸費

一金三千六百七拾五圓
 一金千八百三拾圓
 一金七千五百八拾貳圓
 一金三千四百八拾四圓
 一金七百貳圓
 一金四百五拾圓
 一金壹萬九千五拾壹圓
 一金貳千四百貳拾貳圓
 一金壹萬貳千貳拾三圓
 合金貳拾六萬貳千七百八拾壹圓

勤業費
 有害鳥獸獲殺
 手當
 船政所諸費
 驛遞諸費
 消防費
 經費金取扱手
 數料
 獄署諸費
 未決人諸費
 既決人諸費

地方收入
 國庫補給

金九萬六千百拾六圓
 金拾六萬六千六百六拾五圓
 ○丁第九拾號 七月
 縣令歸廳ニ付代理ヲ解シ
 ○丁第九拾壹號 七月
 秋鮑突營業免許鑑札流失

○丁第九拾貳號 七月
 酒類製造營業免許鑑札携帶逃走
 ○丁第九拾三號 七月
 賣藥行商鑑札發見
 ○丁第九拾四號 七月
 煙草出賣鑑札紛失
 ○丁第九拾五號 七月
 今般甲第三拾七號ヲ以テ假縣道札幌ヨリ岩内ニ至ル路線變更ニ付余市岩内間里程左ノ通ニ
 候條此旨告示候事
 余市 十二里九丁五十三間一尺五寸
 岩内 十二里九丁五十三間一尺五寸
 ○丁第九拾六號 七月
 縣令巡回不在中書記官廳務ヲ代理ス
 ○丁第九拾七號 七月
 本年本甲第三拾九號布達驛傳營業取締規則第四條ニ依リ驛傳取締所ヲ設置スヘキ各驛ハ當
 分左ノ箇所タルヘシ
 札幌 鳥松 千歲 苦小牧 白老 幌別 室蘭港 勇拂 鶴川
 佐瑠太 賀張 下々方 姨布 浦河 襟似 幌泉 庶野 猿留

歷舟	勇洞	大津	篠路	石狩	厚田	濱益	增毛	留萌
鬼鹿	苦前	天壇	宗谷	枝幸	錢函	小樽	壠谷	川村
余市	山道	古平	積丹	神惠内	泊	岩内	室蘭	紋鑑
虻田	禮文華	對雁	當別	月形	市來知			

右告示候事

○丁第九拾八號 七月九日

明治十三年二月舊開拓使本廳違甲第拾壹號布達郡區長特別委任條件中へ左ノ一項追加候條此

旨告示候事

第六十六 驛傳營業願許否ノ事

○丁第九拾九號 七月九日

札幌始審裁判所及全管轄治安裁判所昇降時限

○丁第百號 七月十六日

船鑑札流失

○丁第百壹號 七月十六日

三重縣下伊勢國安濃郡津港字寶崎へ人民自費ヲ以テ燈竿建設候ニ付該費用爲償却本年七月

一日ヨリ向フ十五夕年間入港船舶ヨリ左記ノ建築費取立候條此旨告示候事

一日本形船五拾石積未滿

壹艘ニ付金六厘

地租

一日本形船五拾石積以上貳百石積未滿

拾石ニ付金三厘

一西洋形船

拾石ニ付金貳厘

○丁第百貳號 七月十六日

壹噸ニ付金貳厘

地券紛失

○丁第百三號 七月十八日

煙草出賣鑑札紛失

○丁第百四號 七月十八日

札幌始審裁判所長歸廳ニ付代理ヲ解ク

○丁第百五號 七月十三日

札幌始審裁判所長巡回不在中判事補廳務ヲ代理ス

○丁第百六號 七月廿一日

縣令歸廳ニ付代理ヲ解ク

○丁第百七號 八月四日

函館控訴裁判所長歸廳ニ付代理ヲ解ク

○丁第百八號 八月六日

管下石狩國空知郡空知煤炭試掘借區開坑出願ノ義當分ノ内差止相成候條爲心得此旨告示候

地 本 職 木 本 雜

事

○丁第百九號 八月六日

三重縣下伊勢國安濃郡津港人民自費ヲ以テ浚渫候ニ付該費償却ノ爲メ本年七月一日ヨリ向
ツ十五ケ年間入港船舶ヨリ左ノ通港錢取立ノ義許可候旨全縣ヨリ照會有之候條此旨告示候
事

記

一日本形船五拾石積未滿壹艘ニ付

金四錢四厘

一同五拾石積以上貳百石積未滿拾石ニ付

金壹錢七厘

一同貳百石積以上五百石積未滿拾石ニ付

金壹錢三厘

一同五百石積以上拾石ニ付

金八厘

一西洋形船壹噸ニ付

金壹錢八厘

右之通

○丁第百拾號 八月六日

賊治營業鑑札携帶失踪

○丁第百拾壹號 八月八日

札幌始審裁判所長歸廳ニ付代理ヲ解ク

○丁第百拾貳號 八月十五日

工 本 地租

地券紛失

○丁第百拾三號 八月十五日

夏鮑突營業免許鑑札流失

○丁第百拾四號 八月十八日

海軍兵學校生徒召募ノ義

○丁第百拾五號 八月廿二日

地券狀携帶失踪

○丁第百拾六號 八月廿五日

船鑑札流失

○丁第百拾七號 八月廿五日

札幌始審裁判所長巡回不在中判事補職務ヲ代理ス

○丁第百拾八號 八月廿九日

明治十七年十一月十一日 丁第百拾五號告示管内國縣道渡船場中へ左ノ一箇所ヲ追加ス

右告示候事

余市郡 余市川 大江 渡

○丁第百拾九號 八月廿九日

陸軍々醫部講習生召募ニ付志望者出願セシム

水産投 兵 地租 本 驛 六

本 地 本 本 本

○丁第百貳拾號 九月一日
札幌始審裁判所長歸職ニ付代理ヲ解ク

○丁第百貳拾壹號 九月一日
貸地證所在不分明

○丁第百貳拾貳號 九月五日
札幌始審裁判所長巡回不在中判事補應務ヲ代理ス

○丁第百貳拾三號 九月八日
札幌始審所及管内治安裁判所昇降時限

○丁第百貳拾四號 九月十日
本年七月丁第九拾七號告示中新設ニ係ル各驛里程左ノ通候條此旨告示候事

一 自小樽驛 二里十七丁二十六間

一 自鹽谷驛 二里十七丁二十六間

一 自鹽谷驛 三里十丁廿八間四尺

一 自川村驛 二十丁

一 自川村驛 五里十八丁五十三間四尺

一 自山道驛 六里六丁五十九間四尺五寸

一 自山道驛 六里六丁五十九間四尺五寸

一 自對馬驛 十里十八丁

一 自勇拂驛 四里十八丁

一 自鶴川驛 二里廿三丁

一 自佐瑠太驛 四里

一 自幌泉驛 四里

一 自庶野驛 三里

一 自庶野驛 三里

一 自對馬驛 十里十八丁

出 兵 保 地 保

一 自石狩驛 四里四丁八間

一 自當別驛 六里

一 自月形驛 六里

○丁第百貳拾五號 九月十五日
兌換銀行券見本郡區役所へ下渡置

○丁第百貳拾六號 九月十五日
屯田兵秋季小演習及喇館分屯歩兵長途行軍

○丁第百貳拾七號 九月十七日
今般内務省第四拾八號告示ニ基キ管下小樽港ニ於テ明治十五年六月第三拾壹號布告虎列刺病流行地方ヨリ來ル船舶檢査規則實施候條此旨告示候事

○丁第百貳拾八號 九月十七日
砂利堀採鑑札流失

○丁第百貳拾九號 九月廿二日
管下石狩國空知郡幌内村官有地借地人ニ關スル事務市來知村官有地借地人心得書第二條及第四條以下適用取扱方該郡長へ特別委任候條此旨告示候事

○丁第百三十號 九月三十日
福岡縣下博多港鳥取縣下堺港ニ於テ長崎港ヨリ來航スル船舶ヲ檢査セシム

○丁第百三拾壹號 九月三十日
 誠治營業鑑札發見
 ○丁第百三拾貳號 九月三十日
 青森縣下東津輕郡青森港竿燈建築償却費取立ノ義明治十五年九月乙第六拾八號ヲ以テ相違置候處尙本年十一月一日ヨリ來ル廿五年十月三十一日マテ向七ヶ年間繼續取立並同竿燈々税ノ義モ同向フ七ヶ年限從前ノ方法ニ據リ徵税ノ義許可候旨通牒有之候條此旨告示候事
 ○丁第百三拾三號 九月二十日
 札幌始審裁判所長歸廳ニ付代理ヲ解ク
 ○丁第百三拾四號 九月二十日
 地券紛失
 ○丁第百三拾五號 九月二十日
 札幌始審裁判所檢事代理上京中檢事補事務ヲ代理ス
 ○丁第百三拾六號 九月二十日
 札幌始審裁判所及治安裁判所昇降時限
 ○丁第百三拾七號 九月十四日
 札幌始審裁判所巡回不在中判事補廳務ヲ代理ス
 ○丁第百三拾八號 九月二十日

地券証紛失
 ○丁第百三拾九號 十月廿二日
 札幌始審裁判所長歸廳ニ付代理ヲ解ク
 ○丁第百四拾號 十月廿二日
 地券証紛失
 ○丁第百四拾壹號 十月廿四日
 船及鑑札流紛失
 ○丁第百四拾貳號 十月廿七日
 煙草出賣鑑札遺失
 ○丁第百四拾三號 十月廿七日
 地券証紛失
 ○丁第百四拾四號 十月廿九日
 函館控訴裁判所檢事長不在中檢事廳務ヲ代理ス
 ○丁第百四拾五號 十月廿九日
 地券証紛失
 ○丁第百四拾六號 十月卅一日
 明治十三年二月舊開拓使本廳達甲第拾壹號布達郡區長特別委任條件第二項中(寺院住職)ノ四

字ヲ刪除シ第三十八項左ノ通改正ス

第三十八 驛傳取締人監督ノ事

右告示候事

○丁第百四拾七號 十一月四日

札幌始審裁判所ニ於テ第四期札幌重罪裁判所ヲ開ク

○丁第百四拾八號 十一月十六日

陸軍獸醫部講習生召募

○丁第百四拾九號 十一月十八日

鮑突營業免許鑑札流失

○丁第百五拾號 十一月廿一日

地券証紛失

○丁第百五拾壹號 十一月廿四日

明治十三年二月舊開拓使本廳達甲第拾壹號布達郡區長特別委任條件へ左ノ一項ヲ追加ス

第六拾七 國縣道並水ノ枯損木倒木處分ノ事

右告示候事

○丁第百五拾二號 十一月廿四日

地券証紛失

地租

土

地

水租

兵

水

常

水

工

監庶

本

本

○丁第百五拾三號 十一月廿四日

漂流人相替

○丁第百五拾四號 十一月廿六日

給人農家必要發賣被差止

○丁第百五拾五號 十一月廿六日

商標條例ニ據リ登録ノ商標見本左ノ箇所へ下渡置候條同所ニ就テ觀覽スヘシ

札幌區役所 小樽郡役所 余市濱中町戸長役場 岩内郡役所

増毛郡役所 室蘭郡役所

右告示候事

○丁第百五拾六號 十一月廿六日

増毛郡増毛永壽町三丁目へ監獄支署ヲ設置シ増毛監獄支署ト名稱シ來ル十二月一日ヨリ開

署ス

右告示候事

○丁第百五拾七號 十一月廿八日

札幌始審裁判所長出張不在中判事補廳務ヲ代理ス

○丁第百五拾八號 十一月廿八日

民間必用歲中行事發賣被差止

本
地租
保
醫
水稅
雜

○丁第百五拾九號 十二月五日
札幌始審裁判所長歸廳ニ付代理ヲ解ク

○丁第百六拾號 十二月五日
地券証紛失

○丁第百六拾壹號 十二月五日
小樽港ニ於テ船舶検査規則ノ實施ヲ停止ス

○丁第百六拾貳號 十二月十五日
岩手縣茨城縣管内ニ轉籍或ハ寄留ノ上入箇口中療治接骨營業ヲサント欲スルモノハ本管廳ノ証明書ヲ以テ出願セサレハ許可不致趣該縣ヨリ照會有之候條本縣免許ノモノニシテ該營業望ノモノハ出願添翰ヲ受クヘシ此旨告示候事

○丁第百六拾三號 十二月十七日
千葉縣管内ニ轉籍或ハ寄留ノ上入箇々抜口中療治接骨營業及鍼灸點營業ヲサント欲スルモノハ本管廳ノ証明書ヲ以テ出願セサレハ許可不致趣該縣ヨリ照會有之候條本縣免許ノモノニシテ該營業望ノモノハ出願添翰ヲ受クヘシ此旨告示候事

○丁第百六拾四號 十二月十七日
秋季鮑突營業免許鑑札流失

○丁第百六拾五號 十二月十九日

雜
水
本
本
驛

磯船發見
○丁第百六拾六號 十二月十九日
鑑札流失

○丁第百六拾七號 十二月十九日
函館控訴裁判所檢事長歸廳ニ付檢事代理ヲ解ク

○丁第百六拾八號 十二月十九日
第四期札幌重罪裁判所ヲ閉ク

○丁第百六拾九號 十二月十九日
札幌始審裁判所檢事代理歸廳

○丁第百七拾號 十二月廿二日
驛傳組合區畫左ノ通相定ム

右告示候事

驛傳組合區畫	
驛名	組合町村名
札幌	札幌市街一圓 札幌區 篠路通 札幌郡ノ内 圓山村 琴似村 上手稻村

島松	千歲	苦小牧	白老	幌別	室蘭港	勇拂
登寒村 山鼻村 豐平村 上白石村 白石村 平岸村	千歲郡ノ内 千歲村 闌越村 烏棚舞村 長都村	勇拂郡ノ内 苦小牧村 植苗村 樽前村 覺生村 錦多峰村 小糸魚村	白老郡 白老村 敷生村 社臺村	幌別郡 幌別村 鶯別村 登別村	室蘭郡ノ内 札幌通 西小路町 澤町 幕西町 常盤町 濱町	勇拂郡ノ内 厚真村
月寒村ノ内月寒 札幌村 厂來村 苗穂村	札幌郡ノ内 月寒村ノ内 輪津 大曲 ニエヒシ					

姨布	下々方	賀張	佐瑠太	鶴川
三石郡 姨布村	靜内郡 下々方村 市父村 捫別村 去童村	沙流郡ノ内 賀張村 受乞村	沙流郡ノ内 佐瑠太村 平取村 門別村	勇拂郡ノ内 鶴川村 穂別村
邊訪村 幌毛村 島舞村 不桐村 歌笛村	中下方村 野家村 春立村 姉去村 音江村 遠別村 滑若村 目名村 遠佛村 幕別村 佐妻村 高江村	慶能舞村 元神部村 比字村 菜實村 新冠郡ノ内 大狩部村 葉朽村	富仁家村 二風谷村 荷葉摘村 波惠村 紫雲古津村 長知内村 幌去村 荷葉村 貫氣別村	井目戸村 苗別村 生籃村 似灣村 累標村

浦河	浦河郡	浦河村	向別村	後鞆村	後邊戸村	姉茶村	野深村
樣似	樣似郡ノ内	萩伏村	西舍村	杵臼村	井寒臺村	幌別村	
幌泉	幌泉郡ノ内	鶉苦村	樣似村	平鶉村	冬島村	二七村	岡田村
庶野	幌泉郡ノ内	歌露村	誓内村	幌泉郡ノ内 近呼村	笛舞村	幌泉村	歌別村
廣尾	廣尾郡	廣尾郡ノ内 茂寄村					
歴舟	當縁郡ノ内	歴舟村	大樹村				

勇洞	當縁村						
大津	十勝郡	大津村	長白村	監奴村	十勝村	生剛村	愛牛村
錢函	小樽郡ノ内	小樽郡ノ内 錢函村	張碓村	札幌郡ノ内 山口村	下手稻村		
小樽	小樽郡ノ内	若竹町	勝内町	潮見臺町	新富町	眞柴町	川原町
		高砂町	土場町	芝居町	新地町	金曇町	龍徳町
		若松町	開運町	信香裏町	信香町	山上町	有幌町
		最徳町	住ノ江町	永井町	曙町	花園町	入船町
		港町	堺町	住初町	相生町	入船町裏通	
		奥澤村	熊碓町	朝里村	色内町	手宮町	稻穂町
		手宮裏町	高島村	祝津村			
鹽谷	忍路郡	鹽谷村	忍路村	桃内村	蘭島村		

石狩	厚田	濱益	増毛	留萌	鬼鹿	苦前
船場町 樽川村	厚田郡 聚富村 別狩村	濱益郡 川下村	増毛郡 辨天町 曇寒町	留萌郡ノ内 三泊村	留萌郡ノ内 鬼鹿村	苦前郡 苦前村
親船町	望來村 厚田村	實田村	稻葉町 阿分村	留萌村	天登厂村	白志泊村
若生町	嶺泊村 安瀬村	柏木村	野塚町 舍熊村	禮受村		力晝村
八幡町	古潭村 濃晝村	尻苗村	永壽町 増毛村			燒尻村
花畔村	押琴村	茂生村	七源町 別蒔村			天賣村
生振村	小谷村	群別村	畠中町 岩尾村			

天塩	宗谷	枝幸	對馬	市來	當別	月形
砂流村	宗谷郡 坂海村	枝幸郡 願別村	札幌郡ノ内 對馬厂村	空知郡ノ内 市來知村	石狩郡ノ内 當別村	樺戸郡 月形村
幌延村	稚内村	枝幸村	江別村	幌内村		
天鹽村	聲問村	歌登村	石狩郡ノ内 篠津村	岩見澤村		
遠別村	宗谷村	禮文村	空知郡ノ内 幌向村			
中川上川郡一圓	泊内村					
	猿拂村					
	利尻郡 鴛泊村					
	石崎村					

○丁第七拾壹號 十二月廿四日
 明治十九年略曆其外發賣被止
 ○丁第七拾貳號 十二月廿四日
 增補三才精義其外發賣被止
 ○丁第七拾三號 十二月廿四日
 明治十九年陰陽略曆全上
 ○丁第七拾四號 十二月廿六日
 每朝神拜記發賣被止
 ○丁第七拾五號 十二月廿六日
 佛國郵船乘組水夫所在不分明
 ○丁第七拾六號 十二月廿八日
 明治十三年三月舊開拓使本廳達甲第拾三號布達戶長配置ノ内左ノ通改正ス
 天鹽郡
 各村
 中川郡
 上川郡
 苦前郡

苦前村 自治泊村 力晝村
 右へ戸長一人
 右告示候事

○無號ノ部

○無號 三月廿七日

水道
 本道産出魚粕菘裝改良セサルヘカラサル事由ハ明治十三年乙第三號ヲ以テ舊開拓使ヨリ論達シ爾來六年ヲ經過スルモ改良スル者稀少ナリ抑菘裝粗大ノ不利ナルハ喋々ヲ要セサレモ菘裝ヲナメヨリ販賣地大坂又ハ東京等ニ至ル迄藏庫ニ解舟ニ河漕船ニ搭載格納スルノ手數ニ至リテハ六回ヨリ九回ニ至リ尙又各村落需用者ノ手ニ入ルニハ或ハ駄送シ或ハ負擔シ其手數幾回ナルヲ知ラス爲メニ漏泄スルモノ少ナシトセス殊ニ其際ニ至ツテハ菘裝粗大ノ不便ヲ感シ需用者ノ愛顧ヲ減スルハ理ノ然ラシムル所ニ速ニ改良セサルヘカラサルノ第一ナリ今假リニ本縣下産出魚粕三拾五萬石ト定メ之ヲ三拾貫目ニ菘裝スルハ四拾六万六千六百六拾六本余コノ之ニ要セシ繩疋ノ代價例年壹菘七八錢至乃拾貳三錢ナリ之ヲ平均壹菘拾錢トナシ算出スレハ四方六千六百六拾六圓余ナリ別紙畧圖ノ如ク菘裝シ正味貳拾貫目ニナスキハ繩疋ノ價七万圓ヲ要セリ或ハ云ハシ從來ハ粗大ノ菘裝コノ繩ノ需用少ク改良菘裝ハ繩ノ需用多キニモ拘ハラス壹菘ノ菘裝費拾錢トナスハ起算ノ當ヲ得スト然ルニ從前ハ杏

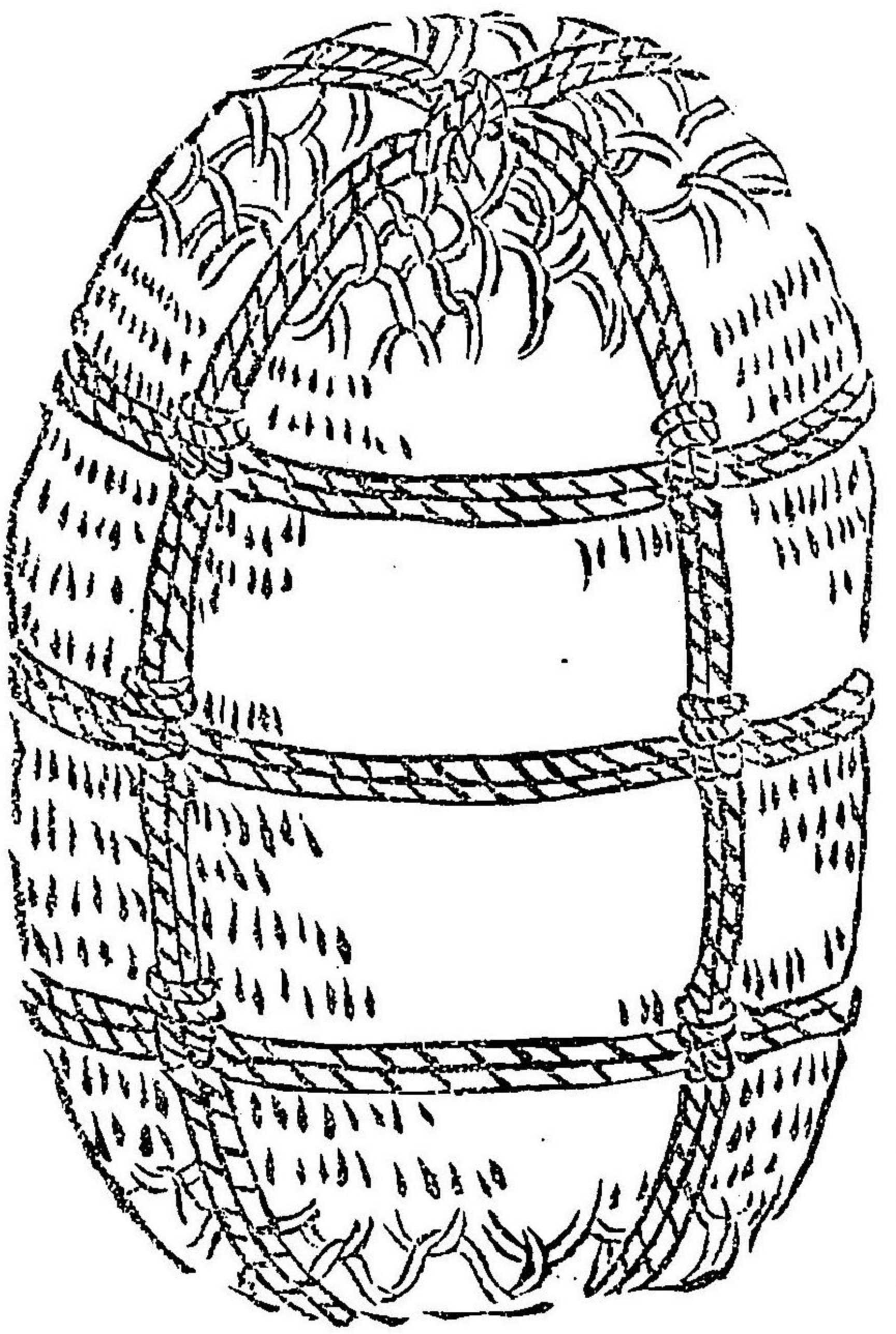
見越ヲ用ヒタルモ這回ハ津輕並本間又ハ敦賀七尾ノ尺長越ヲ用ヘハ價ハ凡半額ニシテ事足
 ヘシ繩ノ需用多キモ之ヲ償却スルニ足レリ依テ改良越モ拾錢ト算出スル所以ナリ而シテ從
 前粗大ノ苞裝ナルヲ以テ漏泄委棄スルノ數タル産地ヨリ需用地へ直航スル日本形船ニ搭載
 スルモ五拾分ノ壹強ノ多キニ至ル況ヤ函館港ヲ經由スル分ハ倉庫ニ解舟ニ運搬スルノ手數
 アルヲ以テ尙一層ノ多キヲ加フルト聞ク之ヲ漁船積ニナスルハ其漏泄ヲ防ク爲メ多少ノ手
 數ト増越繩ヲ要ス此ノ費額モ亦壹苞四五錢ヲ要スヘシ今管内産出ノ分不殘産出地ヨリ直
 航スルモノトナシ空シク漏泄スル數ハ五拾分ノ一ト假定スルモ七千石ニシテ代價百石四百
 圓トスルハ貳万八千圓ナリ此委棄スル金額ヲ以テ從來費用セシ繩越代價ニ加ヘハ七万四
 千六百六拾六圓余トナレリ該金ヲ以テ改良苞裝ヲナスモ殘額尙四千六百六拾六圓余ヲ得此
 ノ改良ヨリ得ル所ノ利益ヲ掲ケレハ左ノ如シ

- (壹) 漏泄委棄ノ憂ナキ
- (貳) 運搬ニ便利ヲ與ヘ從テ需用額ヲ増進スル
- (參) 需用増進アレハ商況從テ活潑ナル
- (四) 苞裝改正スレハ船積損毀セズ聲價ヲ維持スル
- (五) 一俵ヲ貳拾貫目トスレハ貳百俵ヲ以テ百石トス故ニ賣買上計算等ニ便ナリ

(六) 漁船積ニナス井別ニ改装スルノ手數ヲ省キ費用ヲ減スル
 此六項ノ利益アルハ錢ニ照スカ如シ各漁民ハ能ク此旨趣ヲ服膺シ貴重ノ物産ヲシテ空シク
 漏泄委棄スルノ損害タルヲ考思シ明治十七年甲第八拾壹號布達同業組合章程ニ基キ組合ヲ
 設ク斷然改良ニ着手シ國家ノ福利ヲ増進センヲ望ム
 右論達候事

荷造方法

兩口ハ米俵ノ如ク可成緻密ニ織リ胴三ツ繩ヲ以テ堅十文字ニナリ結回ス
 建越ハ津輕並本間五百目ヨリ五百五十目ヨリ六百目位及ヒ之ノ類似ノモノヲ用ユ
 横堅ノ繩ハ大間ヲ用ヒ小口兩織ハ中間繩ヲ用ユ
 小口越ハ適宜ノモノヲ用ヘコノ量目横堅ノ繩共四百目位
 但沓見越所用ノモノハコレヲ切斷シ
 丈五尺三寸取交使用スルモ妨ケナシ
 巾三尺貳寸



○無號 四月六日
 盜難届出方ノ義ニ付テハ明治十五年七月甲第七拾貳號ヲ以布達及置候處近來等閑ニ付シ數日ヲ經過シ届出候モノ往々有之右ハ盜犯人逮捕ノ時機ヲ失シ不都合不勘ニ付其遭難ノ景狀等即時届出ヘク尤便宜ニ依リ口頭ヲ以テ最寄警察署又ハ分署巡查派出所若クハ巡行ノ巡查ヘ

常

水

申出置退テ書面ヲ以テ届出不苦候條心得違無之様致スヘシ此旨諭達候事
 ○無號 四月廿八日

露國樺太島へ漁業出稼志願者ハ常廳ノ添書ヲ以テ同國哥爾薩港駐在ノ我領事館へ出願シ許可ヲ得ルニアラサレハ該業ニ従事スル能ハサル儀ニ候處往々心得違ヒノ者有之右手續シ輕ス直ニ漁場へ渡航スル者有之趣然ルニ露國地方ノ成規ニ因レハ漁業証ヲ所持セス漁場ニ碇船スル船舶ハ総テ密獵船ト見做シ拘留スルトニ相成居候旨今般其筋ヨリ達有之候條右等不都合無之様可致此旨諭達候事

保

○無號 四月廿八日

麻疹病患者届出方ノ義ハ本年三月甲第拾貳號ヲ以テ布達致置候處追々各地ニ發生札幌區空知郡古平郡方面ハ蔓延流行之勢有之ニ付各自攝生上ニ篤ク注意可致ハ勿論ナルコ中ニハ輕病ト侮リ其父兄タルモノ之レヲ忽コシテ醫師ノ診斷ヲ請ケサルモノ往々有之哉ニ相聞ヘ然ルニ一旦右ノ病症ニ罹リタルモノハ其症ノ輕重ヲ問ハス落屑後稍快方ノ際肺病等危險病ヲ併發シ遂ニハ不治ノ症ニ至ル惧レ最モ有之候條該病ニ罹リタルモノハ必ス速ニ醫師ノ診斷ヲ請ケ療養ヲ盡シ專ラ攝生上ヲ能ク守ルヘク若シ未ダ醫師ノ診斷ヲ請サル患者ハ其家人ヨリ時日ト經過ノ日數並ニ發疹ノ模様等審ニ醫師ニ申立其診斷ヲ請クヘシ又申立テ受ケタル醫師ニ於テハ其快方ト否トヲ問ハス速ニ診斷シ前日ノ分ハ每翌朝其住所姓名年齢並發病初疹ノ月日又ハ全治死亡等ヲ取調無漏届出候様可致此旨諭達候事

4キ7A-5

衛

五月十四日

六百八十四

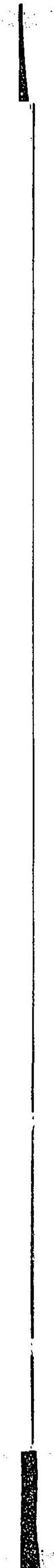
○無 號
 街路ニ樹木ヲ栽植スルハ衛生上最モ緊要ノ點トス夫レ樹木ハ酸素ヲ吐キ炭素ヲ吸収スルヲ以テ常ニ大氣ヲ清淨ニシ爲メコ精神ノ爽快ヲ覺ヘシメ又火災暴風ノ防禦トナリ且ツ市街ノ風致ヲ美麗ナラシム故ニ歐米各國ニ於テ人家稠密ノ場所ハ樹木ヲ栽植セサルハナシ幸ニ札幌ハ街路ノ設ケ廣潤ニシテ樹木ヲ植ユルニ宜ニ付本年ヨリ漸次此有用ナル樹木ヲ栽植候様可致此旨諭達候事

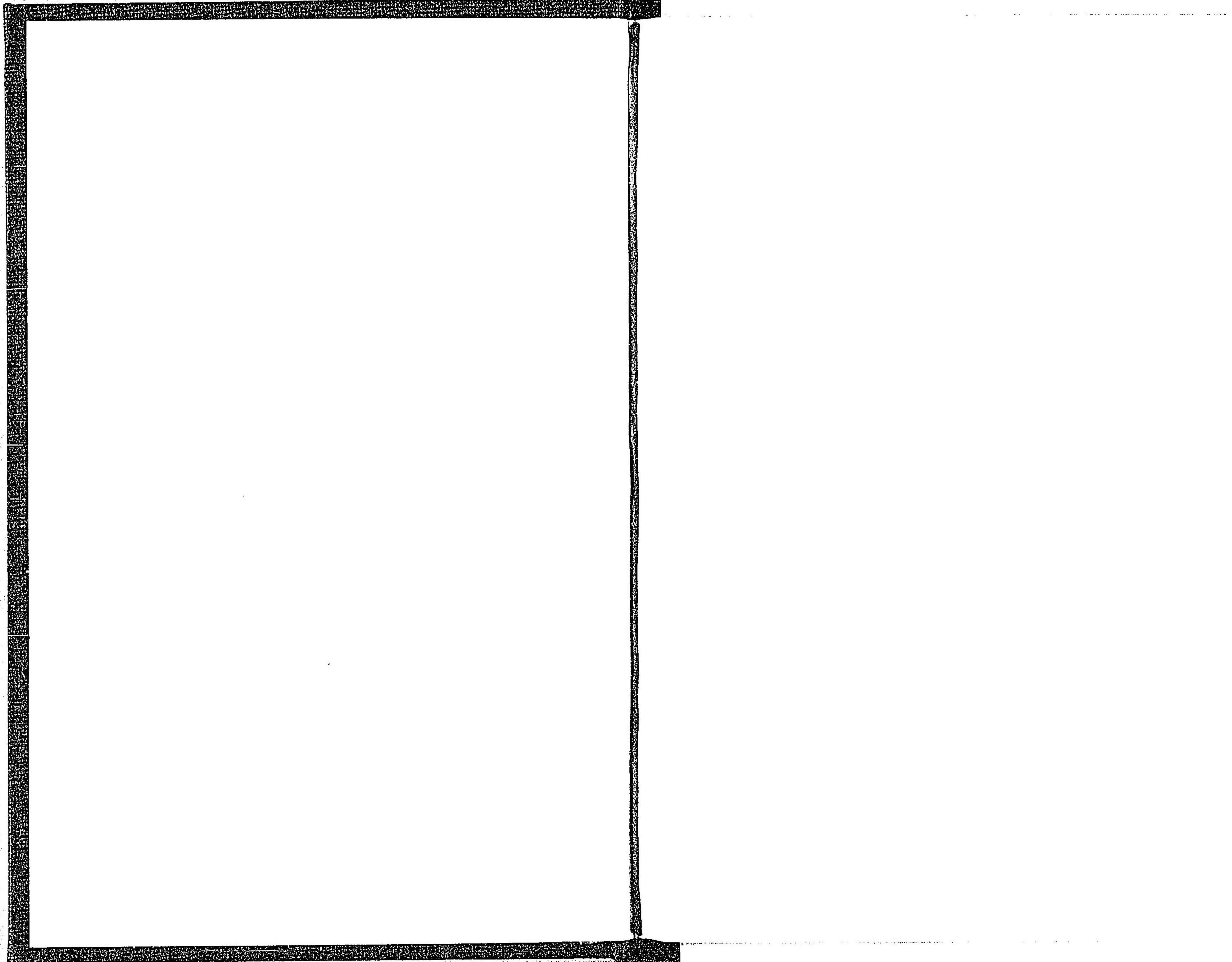
係

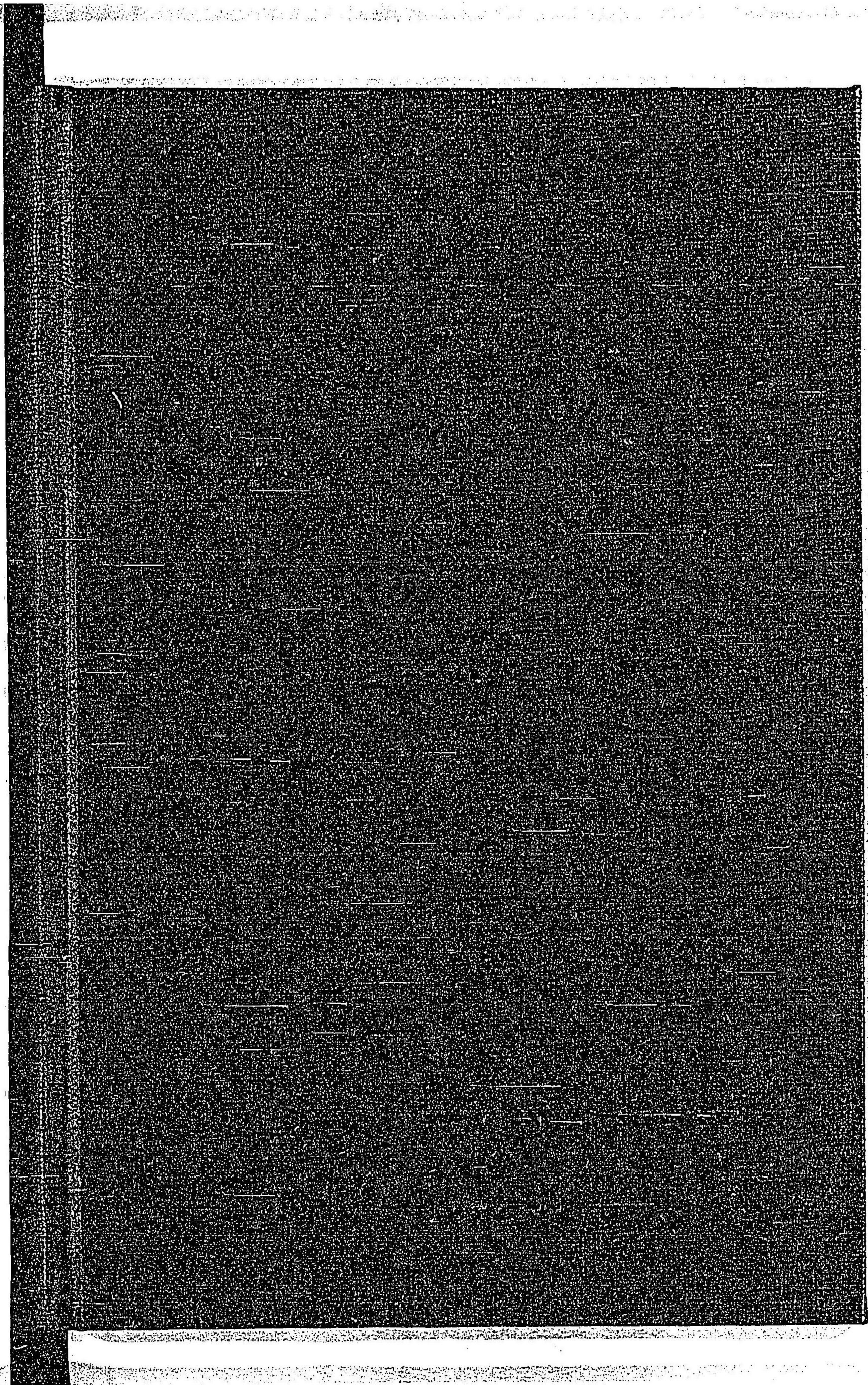
但樹木ノ種類及ヒ栽植方等ハ札幌區役所ノ指圖ヲ受クヘシ
 ○無 號
 九月九日

長崎縣下長崎港ニ於テ八月下旬ヨリ虎列刺病發生ノ處其勢ヒ頗ル猛烈ニシテ十日間ニ八百餘名ニ感染シ死者四百餘名ニ至レリ又管下空知郡市來知村ニ於テ去ル四日男一人類似虎列刺病ニ罹リ目下治療中ノ旨届出候條各自衣食住等ノ攝生法ハ勿論飲料水下水芥溜便所ノ掃除其外臥蓐等極メテ清潔法ヲ怠ラサル様注意スヘシ

右諭達候事







禁電子式複写

